

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99

成績書管理番号：1-50

令和3年3月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-50

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 3 年 1 月 27 日
至 令和 3 年 3 月 3 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第 46号(平成30年4月20日) 関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第259号(平成30年8月20日) 関原発第415号(平成30年12月5日) 関原発第504号(平成31年2月1日) 関原発第512号(平成31年2月6日) 関原発第582号(平成31年3月18日) 関原発第 3号(平成31年4月4日) 関原発第 68号(2019年5月16日) 関原発第115号(2019年6月24日) 関原発第204号(2019年8月23日) 関原発第478号(2020年1月23日) 関原発第510号(2020年1月31日) 関原発第542号(2020年2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第 20号(2020年4月 7日) 関原発第236号(2020年8月21日) 関原発第603号(2021年2月25日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-50

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 3 年 1 月 27 日	良	増本 豊 福宮 晋一	発電所長 主任技術者 電気主任技術者 ボイラー-ラ-セル主任技術者	なし

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-50

検査年月日：令和 3 年 / 月 27 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-50

検査年月日：令和 3 年 / 月 27 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	◎良・-	
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。	◎良・-	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号：1-50

検査年月日：令和3年 / 月27日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設)	発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>2. 発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止</p> <p>2.4 建屋内の防護すべき設備に関する溢水評価及び防護設計方針</p> <p>(3) 蒸気影響に対する評価及び防護設計方針</p> <p>漏えい蒸気影響により、防護すべき設備が要求される機能を損なうおそれがある場合は、漏えい蒸気影響を緩和するための対策を実施する。具体的には、蒸気漏えいを自動検知し、隔離（直ちに環境温度が上昇し、健全性が確認されている条件を超えるおそれがある場合は自動隔離、それ以外は中央制御室からの遠隔手動隔離）を行うために、蒸気漏</p>	<p>T1-3-0804 (その1)</p> <p>T1-3-0804 (その2)</p>	<p>2号機リレー室に設置されている1. 2号機高エネルギー配管漏えい検知制御盤（12PRDC）及び中央制御室に設置されている1. 2号機高エネルギー配管漏えい検知監視盤（12PRDP）</p>	<p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p>	良

<p>その他発電用原子炉の附属施設（浸水防護施設）</p>	<p>えい検知システム（温度センサ、蒸気止め弁、漏えい検知監視制御盤）を設置する。蒸気止め弁は、補助蒸気系に設置し隔離信号発信後 25 秒以内に自動隔離する設計とする。</p> <p>確認対象：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度センサ（蒸気漏えい検知システム）XXXXXXXXXX の外観・据付 ・蒸気止め弁（蒸気漏えい検知システム）1MOV-5700 の外観・据付及びインターロック ・高エネルギー配管漏えい検知監視制御盤（蒸気漏えい検知システム） の特性及び機能・性能 				
-------------------------------	---	--	--	--	--

7

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設)	津波による損傷の防止	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 津波による損傷の防止</p> <p>1. 4 津波防護対策に必要な浸水防護施設の設計</p> <p>(c) 津波監視設備</p> <p>津波監視設備は、津波の襲来状況を監視できる設計とする。また、波力、漂流物の影響を受けにくい位置に設置する。</p> <p>津波監視設備のうち津波監視カメラは、1号機、2号機、3号機及び4号機の非常用所内電源設備から給電するとともに映像信号を中央制御室へ伝送し、中央制御室にて周囲の状況を昼夜にわたり監視できるよう、暗視機能を有する設計とする。</p> <p>確認対象：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波監視カメラ(3号機設備、1・2・3・4号機共用) <p>取水口側及び放水口側に暗視用カメラと可視用カメラが搭載された1体品の津波カメラ2台の据付・外観及び機能・性能</p>	<p>T1-1-0715</p> <p>T1-3-0715</p>		<p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p>	良

9

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の 附属施設(浸水防護施設)	発電用原子炉施設内における 溢水等による損傷の防止	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>2. 発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止</p> <p>2.4 建屋内の防護すべき設備に関する溢水評価及び防護設計方針</p> <p>没水の影響により、防護すべき設備が溢水水位に対し機能喪失高さを確保できないおそれがある場合は、溢水により発生する水圧に対して止水性（以下「止水性」という。）を維持する壁、扉、堰又は貫通部止水処置により溢水伝播を防止するための対策又は対象設備の水密化処置を実施する。</p> <p>確認対象：</p> <ul style="list-style-type: none"> 貫通部止水処置 <p>配管20カ所及び計装配管5カ所の据付・外観</p>	<p>T1-3-0218</p> <p>T1-3-0808</p>	/	<p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p>	良

10

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設(浸水防護施設)	発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>2. 発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止</p> <p>2.4 建屋内の防護すべき設備に関する溢水評価及び防護設計方針</p> <p>(1) 没水影響に対する評価及び防護設計方針</p> <p>没水の影響により、防護すべき設備が溢水水位に対し機能喪失高さを確保できないおそれがある場合は、溢水により発生する水圧に対して止水性（以下「止水性」という。）を維持する壁、扉、堰又は貫通部止水処置により溢水伝播を防止するための対策又は対象設備の水密化処置を実施する。</p> <p>確認対象：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間建屋水密扉 (No.1) <p>「株式会社イトーキ製の水密扉からの漏水の可能性に係る報告について」の水平展開の実施状況を主眼とした据付・外観</p>	T1-3-1311		保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-50

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 3 年 3 月 3 日	良	増本 豊	奈良原 了 主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted] 木村 一 主任技術者 [Redacted]	よし

11

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-50

検査年月日：令和 3 年 3 月 3 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・－	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・－	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・－	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-50

検査年月日：令和 3 年 3 月 3 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	◎良・－	
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。	◎良・－	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号：1-50

検査年月日：令和 3 年 3 月 3 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設)	津波による損傷の防止	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 津波による損傷の防止</p> <p>1.4 津波防護対策に必要な浸水防護施設の設計</p> <p>a. 設計方針</p> <p>津波監視設備は、津波の襲来状況を監視できる設計とする。また、波力、漂流物の影響を受けにくい位置に設置する。</p> <p>津波監視設備のうち潮位計は、経路からの津波に対し海水ポンプ室の上昇側及び下降側の水位変動のうち T.P. 約-9.9m から T.P. 約+6.6m を測定可能とし、非接触式の水圧検出器により計測できる設計とする。また、潮位計は1号機の非常用所内電源設備から給電し、中央制御室から監視可能な設計とする。</p> <p>確認対象： 潮位計（1・2号機共用）の外観・据付・特性及び機能・性能</p>	<p>T1-1-0809</p> <p>T1-3-0812</p>		保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良

12

15/E

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設(浸水防護施設)	発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>2. 発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止</p> <p>2.4 建屋内の防護すべき設備に関する溢水評価及び防護設計方針</p> <p>(4)その他の溢水影響に対する溢水評価及び防護設計方針</p> <p>その他の溢水のうち機器の誤作動や弁のグランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知システム等の状況確認により早期に検知し、漏えい箇所の特定制及び漏えい箇所の隔離等により漏えいを止めることで防護すべき設備の要求される機能を損なうおそれのない設計とする。</p> <p>確認対象： 漏えい停止の手順の状態確認(運用)</p>	T1-3-1602		保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1610071号99

成績書管理番号 : 1-51

令和3年3月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-51

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 3 年 1 月 25 日
至 令和 3 年 3 月 3 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第46号(平成30年4月20日) 関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第259号(平成30年8月20日) 関原発第415号(平成30年12月5日) 関原発第504号(平成31年2月1日) 関原発第512号(平成31年2月6日) 関原発第582号(平成31年3月18日) 関原発第3号(平成31年4月4日) 関原発第68号(2019年5月16日) 関原発第115号(2019年6月24日) 関原発第204号(2019年8月23日) 関原発第478号(2020年1月23日) 関原発第510号(2020年1月31日) 関原発第542号(2020年2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第20号(2020年4月7日) 関原発第236号(2020年8月21日) 関原発第603号(2021年2月25日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-51

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 3 年 1 月 25 日 26	良	増本 豊 福田 晋一	奈良県原子力 主任技術者 電気主任技術者 本行--A-TV 主任技術者	なし

ω

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-51

検査年月日：令和 3 年 1 月 25
26 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	⊙・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	⊙・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	⊙・—	

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-51

検査年月日：令和 3 年 1 月 26 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	◎良・－	
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。	◎良・－	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号：1-51

検査年月日：令和3年 / 月 25 / 26 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源、敷地内土木、緊急時対策所)	緊急時対策所	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 1 緊急時対策所の設置等</p> <p>c. 通信連絡</p> <p>また、1次冷却材喪失事故等が発生した場合において、発電所内から発電所外の緊急時対策支援システム(ERSS)等へ必要なデータを、専用であって多様性を備えた通信回線を使用する通信連絡設備により伝送できる設計とする。</p> <p>緊急時対策支援システム(ERSS)等へのデータ伝送の機能に係る設備については、重</p>	T1-3-0805	3号機に設置されているERSS伝送サーバ用通信器収納盤及びERSS伝送サーバ盤(ERSSV)	保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けられ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良

9

その他発電用原子炉の附属施設(常用電源、敷地内土木、緊急時対策所)		<p>大事故等が発生した場合においても必要なデータの伝送ができる設計とする。</p> <p>確認対象： 安全パラメータ表示システム (SPD S) (「1・2・3・4号機共用、1・3・4号機に設置」の機能・性能</p>				
-----------------------------------	--	---	--	--	--	--

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源、敷地内土木、緊急時対策所)	保安電源設備	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 保安電源設備</p> <p>1.1 発電所構内における電気系統の信頼性確保</p> <p>1.1.2 1相の電路の開放に対する検知及び電力の安定性回復</p> <p>変圧器1次側において3相のうち1相の電路の開放が生じた場合、変圧器やガス絶縁開閉装置を設置するとともに、電路が筐体内に包まれる設計とすることにより、1相の電路の開放は、保護継電器にて自動検知できる設計とする。異常を検知した場合は自動若しくは手動で故障箇所の隔離又は非常用母線の受電切替ができる設計とし、電力の供給の安定性を回復できる設計とする。</p>	T1-3-0914		保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良

10

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設(常用電源、敷地内土木、緊急時対策所)	地震による周辺斜面の崩壊に対する基本設計方針	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 地震による周辺斜面の崩壊に対する基本設計方針</p> <p>基準地震動 S_s による地震力に対して、3号機及び4号機原子炉建屋並びに3号機及び4号機原子炉補助建屋背後斜面に連続地中壁(3号機設備、1・2・3・4号機共用(以下同じ。))及び抑止ぐい(3号機設備、1・2・3・4号機共用(以下同じ。))を設置することで、斜面の崩壊を防止することができる設計とする。</p> <p>確認対象：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連続地中壁(3号機設備、1・2・3・4号機共用) ・抑止ぐい(3号機設備、1・2・3・4号機共用) <p>の据付及び外観</p>	<p>T1-3-1333</p> <p>T1-3-1832</p>		<p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p>	良

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備、補機駆動燃料)	非常用電源設備 の電源系統	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1. 1 非常用電源系統</p> <p>加えて、重要安全施設への電力供給に係る電気盤及び当該電気盤に影響を与えるおそれのある電気盤のうち非常用ディーゼル発電機に接続される電気盤以外の電気盤(安全施設(重要安全施設を除く。)への電力供給に係るものに限る。)について、遮断器の遮断時間の適切な設定等により、高エネルギーのアーク放電によるこれらの電気盤の損壊の拡大を防止することができる設計とする。</p> <p>確認対象：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーク放電発生箇所4-1HA、アーク放電を遮断するための解放する遮断器G10 ・アーク放電発生箇所4-1HB、アーク放電を遮断するための解放する遮断器G10 	T1-3-0907		保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良

その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備、補機駆動燃料）		<ul style="list-style-type: none"> ・アーク放電発生箇所4-1HA、アーク放電を遮断するための解放する遮断器110 ・アーク放電発生箇所4-1HB、アーク放電を遮断するための解放する遮断器110 ・アーク放電発生箇所4-1EA、アーク放電を遮断するための解放する遮断器E10 ・アーク放電発生箇所4-1EB、アーク放電を遮断するための解放する遮断器E10 ・アーク放電発生箇所4-1SA、アーク放電を遮断するための解放する遮断器ST10 ・アーク放電発生箇所4-1SB、アーク放電を遮断するための解放する遮断器ST10 の機能・性能				
--------------------------------	--	---	--	--	--	--

13

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備、補機駆動燃料)	非常用電源設備の電源系統	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1. 3 号機間電力融通系統</p> <p>設計基準事故対処設備の電源が喪失(全交流動力電源喪失)した場合に、重大事故等時の対応に必要な設備に電力を供給するため、号機間電力融通恒設ケーブル(1・2号機共用、1号機に設置)(6,600V、320A以上)のものを1組)又は号機間電力融通予備ケーブル(1・2号機共用、1号機に設置)(6,600V、320A以上)を保管し、使用できる設計とする。なお、号機間電力融通予備ケーブルは、予備も含めて2組保管する。</p> <p>確認対象：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・号機間電力融通恒設ケーブル(1・2号機共用、1号機に設置) ・号機間電力融通予備ケーブル(1・2号機共用、1号機に設置) <p>の据付・外観</p>	T1-3-0911	/	保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良

ノ

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備、補機駆動燃料)	非常用電源設備の電源系統	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1. 3号機間電力融通系統</p> <p>号機間電力融通恒設ケーブルは、1号機及び2号機の号機間融通用高圧ケーブル接続盤(6,600V、320A以上のものを2個)間をあらかじめ敷設し、非常用高圧母線に接続された号機間融通用高圧ケーブルコネクタ盤(6,600V、320A以上のものを2個)においてコネクタ接続することで他号機のディーゼル発電機(「重大事故等時のみ1・2号機共用」、「2号機設備、重大事故等時のみ1・2号機共用」(以下同じ。)) (燃料油貯油そう(「重大事故等時のみ1・2号機共用」、「2号機設備、重大事故等時のみ1・2号機共用」(以下同じ。)) 含む。) から電力融通できる設計とする。</p>	<p>T1-3-0912</p> <p>T1-3-0930</p>	<p>1号機に設置されている号機間融通用高圧ケーブル接続盤及び号機間融通用高圧ケーブルコネクタ盤</p>	<p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p>	<p>良</p>

<p>その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備、補機駆動燃料）</p>		<p>確認対象： ・号機間電力融通恒設ケーブル ・号機間融通用高圧ケーブル接続盤 ・号機間融通用高圧ケーブルコネクタ盤 ・ディーゼル発電機（2号機設備、重大事故等時のみ1・2号機共用（ディーゼル発電機） の機能・性能</p>				
---------------------------------------	--	--	--	--	--	--

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備、補機駆動燃料)	補機駆動用燃料設備	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 補機駆動用燃料設備</p> <p>1. 1 設備の共用</p> <p>No. 2 ディーゼル消火ポンプ燃料サービスタンクは、No. 2 ディーゼル消火ポンプの機能を達成するために必要となる容量を有することで、共用により発電用原子炉施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>確認対象：</p> <p>No. 2 ディーゼル消火ポンプ燃料サービスタンク(3号機設備、1・2・3・4号機共用)の機能・性能</p>	T1-3-0420	/	保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-51

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 3 年 3 月 3 日	良	増本 豊	森田 元二 主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	無し

17

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-51

検査年月日：令和 3 年 3 月 3 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	⊙・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	⊙・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	⊙・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-51

検査年月日：令和 3 年 3 月 3 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	Ⓔ・-	
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。	Ⓔ・-	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号：1-51

検査年月日：令和 3 年 3 月 3 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設 (補機駆動燃料)	補機駆動用燃料 設備	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 補機駆動用燃料設備</p> <p>送水車燃料タンクへの燃料補給は、燃料油貯油そうよりタンクローリーを用いて補給できる設計とする。</p> <p>確認対象：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料油貯油そう（重大事故等時のみ1・2号機共用） ・燃料油貯油そう（2号機設備、重大事故等時のみ1・2号機共用） ・タンクローリー（1・2号機共用） ・送水車燃料タンク <p>の機能・性能</p>	<p>T1-3-0501（その5）</p> <p>T1-3-0501（その4）</p> <p>T1-3-0557</p>		<p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p>	良

20/E

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99
成績書管理番号：1-52

令和3年1月
原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-52

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 3 年 / 月 / 8 日
至 令和 3 年 / 月 / 18 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第46号(平成30年4月20日) 関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第259号(平成30年8月20日) 関原発第415号(平成30年12月5日) 関原発第504号(平成31年2月1日) 関原発第512号(平成31年2月6日) 関原発第582号(平成31年3月18日) 関原発第3号(平成31年4月4日) 関原発第68号(2019年5月16日) 関原発第115号(2019年6月24日) 関原発第204号(2019年8月23日) 関原発第478号(2020年1月23日) 関原発第510号(2020年1月31日) 関原発第542号(2020年2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第20号(2020年4月7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-52

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 1月18日	良	荒谷 徹	主任技術者 ボムヤ・タービン主任技術者 	たじ

ω

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-52

検査年月日：令和 3 年 1 月 18 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-52

検査年月日：令和 3 年 / 1 月 / 8 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	⓪・—	
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。	⓪・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 確認結果一覧表

成績書管理番号：1-52

検査年月日：令和 3 年 / 月 / 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した設 備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設 (補助ボイラー)	設備の相互接続	確認した基本設計方針： 2. 設備の相互接続 補助蒸気連絡ライン（低圧）は、1号機及び2号機の 共用配管と3号機及び4号機の共用配管を相互接続す るものの、通常は連絡弁を閉止することで物理的に分 離されることから、悪影響を及ぼすことはなく、連絡 ライン使用時においても、1号機、2号機、3号機 及び4号機の各系統の補助蒸気の圧力は同じとし、発 電用原子炉施設の安全性を損なうことのない設計とす る。また、1号機及び2号機の補助蒸気配管について は、相互接続し、通常は連絡弁を開けて連絡するもの の、各号機の補助蒸気の圧力は同じとし、また、融通 に必要な供給容量を有することで、発電用原子炉施設 の安全性を損なうことがなく、連絡ラインを使用しな い場合は、連絡弁の閉止により物理的に分離すること で、悪影響を及ぼさない設計とする。	T1-3-0602	補助蒸気連絡ラ イン（低圧）及び 連絡弁（弁番号： AS-108、A S-172）	保安活動が基本 設計方針に従っ て行われ、設備 及び機器が基本 設計方針に従い 製作され、据付 けされ、所定の 性能を有してお り、技術基準に 適合するもので あること。	良

9

確認対象： ・補助蒸気連絡ライン（低圧）及び連絡弁の接続状況

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機

基本設計方針に係る
使用前検査成績書

施設名 : 原子炉冷却系統施設(蒸気タービンに係るものを除く。)

系統名 : -

要領書番号 : 原規規収第1610071号1-53-1

平成28年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 基本設計方針に係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第299号(平成28年10月7日)
- 4 検査期日 自 平成28年11月17日
至 平成28年11月17日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機
原子炉冷却系統施設(蒸気タービンに係るものを除く。)
基本設計方針^{*1}
- ※1:大容量ポンプ(1・2・3・4号機共用)の保管場所の変更
に係る範囲
- 7 検査結果 検査結果一覧表のとおり

検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査	良	平成28年11月17日	平成28年11月17日
		<p style="font-size: 2em; margin: 0;">山元義弘</p> <div style="background-color: black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">大和田智</p> <div style="background-color: black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> <p style="margin: 0;">(環境政官)</p> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">北條駿平</p> <div style="background-color: black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>	<p style="margin: 0;">ボイラー・タービン 主任技術者</p> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 40px; margin: 10px 0;"></div>

8. 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

基本設計方針に係る検査

確認事項	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	平成28年 11月17日	良	
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表(様式-8)が作成され、申請者の適合性確認検査において大容量ポンプ(1・2・3・4号機共用)の保管場所の変更に係る範囲について漏れなく確認されていること。	平成28年 11月17日	良	
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

検査年月日：平成28年11月17日

施設名	機器等の名称（設備区分）	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した設備等	確認結果
原子炉冷却系統施設（蒸気タービンに係るものを除く。）	基本設計方針 共通項目 設備に対する 要求※1	<p>確認した基本設計方針： 屋外の重大事故等対処設備については、風（台風）及び竜巻による風荷重に対し、位置的分散を考慮した保管により、機能を損なわない設計とする。</p> <p>位置的分散については、同じ機能を有する重大事故等対処設備（設計基準事故対処設備を兼ねている重大事故等対処設備も含む。）と100m以上の離隔距離を確保した保管場所を定めて保管することにより、竜巻により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失することの防止を図る設計とする。ただし、同じ機能を有する重大事故等対処設備がない設備については、竜巻によって1台が損傷したとしても必要数を満足し、機能が損なわれないよう、予備も含めて分散させると</p>	T1-3-0401	大容量ポンプ（1・2・3・4号機共用）の位置的分散	良

	<p>ともに、原子炉格納容器、使用済燃料ピット及びこれらの設備が必要となる事象の発生を防止する設計基準事故対処設備、重大事故等対処設備を内包する原子炉建屋並びに海水ポンプ室から 100m 以上の離隔距離を確保した保管場所を定めて保管する設計とする。</p> <p>確認対象： 大容量ポンプ（1・2・3・4号機共用）の位置的分散</p>			
<p>基本設計方針 個別項目 原子炉補機冷却設備※1</p>	<p>確認した基本設計方針： 大容量ポンプは、中間建屋内のディーゼル発電機と屋外の離れた位置に分散して保管することで、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>確認対象： 大容量ポンプ（1・2・3・4号機共用）の位置的分散</p>	<p>T 1-3-0401</p>		

※1：大容量ポンプ（1・2・3・4号機共用）の保管場所の変更に係る範囲

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機

基本設計方針に係る
使用前検査成績書

施設名 : 放射性廃棄物の廃棄施設
放射線管理施設
その他発電用原子炉の附属施設

系統名 : 火災防護設備

要領書番号 : 原規規収第1610071号1-53-2

平成29年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 基本設計方針に係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第299号（平成28年10月7日）
- 4 検査期日 自平成29年10月16日
至平成29年11月7日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機
放射性廃棄物の廃棄施設
放射線管理施設
その他発電用原子炉の附属施設
基本設計方針^{※1}
- ※1：外部遮蔽壁保管庫（1・2号機共用）
に係る範囲
- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査	良	平成29年10月 ¹⁶ 日	平成29年10月 ¹⁶ 日
		山元 義弘 	発電用原子炉主任技術者 
		水戸 侑哉 	

8. 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査	良	平成 29 年 11 月 6 日	平成 29 年 11 月 6 日
		<p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">水戸 侑哉</p> <div style="text-align: center; background-color: black; width: 40px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> <p style="text-align: center;">(環境技官)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">須貝 実</p> <div style="text-align: center; background-color: black; width: 40px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	<p style="text-align: center;">発電用原子炉主任技術者</p> <div style="text-align: center; background-color: black; width: 100%; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>

8. 特記事項

なし

9. 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

基本設計方針に係る検査

確認事項	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	平成29年 10月 ¹⁶ / ₁₈ 日	良	
	平成29年 11月 ⁶ / ₇ 日	良	
	年 月 日		
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表(様式-8)が作成され、申請者の適合性確認検査において外部遮蔽壁保管庫(1・2号機共用)に係る範囲について漏れなく確認されていること。	平成29年 10月 ¹⁶ / ₁₈ 日	良	
	平成29年 11月 ⁶ / ₇ 日	良	
	年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

検査年月日:平成29年10月¹⁶/₁₈日

UT

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認検査要領書、成績書等	現場確認した設備等	確認結果
発電用原子炉施設 (共通項目) ※1	地盤等	<p>確認した基本設計方針： 設計基準対象施設のうち、耐震重要施設以外の建物・構築物及びその他の土木構造物については、自重や運転時の荷重等に加え、耐震重要度分類の各クラスに応じて算定する地震力が作用した場合、自重や運転時の荷重等に加え、代替する機能を有する設計基準事故対処設備が属する耐震重要度分類の各クラスに応じて算定する地震力が作用した場合においても、接地圧に対する十分な支持力を有する地盤に設置する。</p> <p>確認対象： 接地圧に対する十分な支持力を有する地盤への設置</p>	T1-3-1301	/	良

検査年月日：平成29年10月¹⁶/₁₇/¹⁸日

9

施設名	機器等の名称（設備区分）	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認検査要領書、成績書等	現場確認した設備等	確認結果
	自然現象	確認した基本設計方針： 防火帯外側にある固体廃棄物貯蔵庫及び外部遮蔽壁保管庫については、その周辺に防火帯と同じ幅の防火エリアを設ける設計とする。 確認対象： 防火帯と同じ幅の防火エリア	T1-3-1502	防火帯と同じ幅の防火エリア	良
	設備に対する要求	/	/	/	/
	その他	/	/	/	/
放射性廃棄物の廃棄施設 ^{※1}	廃棄物処理設備、廃棄物貯蔵設備等	/	/	/	/

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

検査年月日：平成29年11月6日

87

施設名	機器等の名称（設備区分）	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認検査要領書、成績書等	現場確認した設備等	確認結果
発電用原子炉施設 （共通項目）※1	地盤等	/	/	/	/
	自然現象	/	/	/	/
	設備に対する要求	<p>安全施設は、通常運転時、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時における環境圧力、環境温度及び湿度による影響、放射線による影響、屋外の天候等による影響並びに荷重を考慮しても、安全機能を発揮できる設計とする。</p> <p>確認した基本設計方針： 通常運転時、運転時の異常な過</p>	T1-5-1301	/	良

検査年月日：平成29年11月6日

施設名	機器等の名称（設備区分）	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認検査要領書、成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>渡変化時及び設計基準事故時における環境圧力、環境温度及び湿度による影響、放射線による影響、屋外の天候等による影響並びに荷重を考慮した安全施設</p>		/	
	<p>その他</p>	<p>発電用原子炉施設には、位置を明確かつ恒久的に表示することにより容易に識別できる安全避難通路及び電源が喪失した場合においても機能を損なわない避難用照明として蓄電池を内蔵した非常灯（「1・2号機共用、1号機に設置」、「2号機設備、1・2号機共用、2号機に設置」）及び誘導灯（「1・2号機共用、1号機に設置」、「2号機設備、1・2号機共用、2号機に設置」）を設置し、安全に避難できる設計とする。</p>	<p>T1-3-1301</p>	/	<p>良</p>

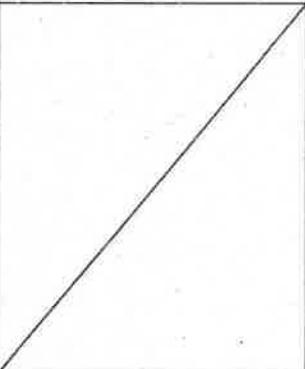
検査年月日：平成29年11月6日

施設名	機器等の名称（設備区分）	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認検査要領書、成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>確認した基本設計方針： 安全避難通路、蓄電池を内蔵した非常灯及び誘導灯</p>		/	
放射性廃棄物の廃棄施設※1	<p>廃棄物処理設備、廃棄物貯蔵設備等</p>	<p>外部遮蔽壁保管庫は、外周コンクリート壁一部撤去に伴い発生したコンクリート、鉄筋及び埋め込み金物を専用の容器に貯蔵することにより、放射性物質による汚染の拡大防止を考慮した設計とする。</p> <p>確認した基本設計方針： 専用の容器に貯蔵することによる放射性物質による汚染の拡大防止</p>	T1-3-1102	/	良
	<p>固体廃棄物貯蔵庫及び外部遮蔽壁保管庫の森林火災からの防護</p>	<p>固体廃棄物貯蔵庫及び外部遮蔽壁保管庫は防火帯の外側にあることから、その周辺に防火帯と同じ幅の防火エリアを設ける設計とする。</p>	T1-3-1502	/	良

検査年月日：平成29年11月7日

施設名	機器等の名称（設備区分）	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認検査要領書、成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>確認した基本設計方針： 防火帯と同じ幅の防火エリア</p>		/	
<p>その他発電用原子炉 の附属施設※1</p>	<p>火災発生防止</p>	<p>火災の発生防止のため、発電用原子炉施設内の電気系統は、保護継電器及び遮断器によって故障回路を早期に遮断し、過電流による過熱及び焼損を防止する設計とする。</p> <p>確認した基本設計方針： 保護継電器及び遮断器</p>	<p>T1-3-1301</p>	/	<p>良</p>
	<p>火災の感知及び消火</p>	<p>火災発生時の煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難とならないところは、自動消火設備である海水ポンプの二酸化炭素消火設備並びに可搬型の消火器又は消火栓により消火を行う設計とする。</p>	<p>T1-3-1504 (再検査)</p>	<p>可搬型の消火器</p>	<p>良</p>

検査年月日：平成29年11月6日

施設名	機器等の名称（設備区分）	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認検査要領書、成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>確認した基本設計方針： 可搬型の消火器</p>			
	<p>火災の影響軽減</p>	<p>火災防護対象機器等を設置する火災区域に関連する換気空調設備は、他の火災区域又は火災区画の火災の影響を軽減するために、防火ダンパを設置する。</p> <p>確認した基本設計方針： 防火ダンパ</p>	<p>T1-3-1301</p>	<p>防火ダンパ</p>	<p>良</p>
	<p>設備の共用</p>	<p>火災感知設備の一部は、監視対象となる共用設備の各火災区域、火災区画に火災感知器を設置することで、共用により発電用原子炉の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>確認した基本設計方針：</p>	<p>T1-3-1301</p>		<p>良</p>

検査年月日：平成29年11月6日

施設名	機器等の名称（設備区分）	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認検査要領書、成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		共用設備の各火災区域、火災区画に設置された火災感知器			

※1：外部遮蔽壁保管庫（1・2号機共用）に係る範囲

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機

基本設計方針に係る
使用前検査成績書

施設名 : 計測制御系統施設
放射線管理施設
その他発電用原子炉の附属施設

系統名 : 計測制御系統施設
放射線管理用計測装置
換気設備
生体遮蔽装置
非常用電源設備
火災防護設備
補機駆動用燃料設備
緊急時対策所

要領書番号 : 原規規収第 1610071 号 1-53-3

令和元年6月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 基本設計方針に係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第299号(平成28年10月7日)
関原発第434号(平成30年3月20日)
関原発第46号(平成30年4月20日)
関原発第202号(平成30年7月4日)
関原発第259号(平成30年8月20日)
関原発第415号(平成30年12月5日)
関原発第504号(平成31年2月1日)
関原発第512号(平成31年2月6日)
関原発第582号(平成31年3月18日)
関原発第3号(平成31年4月4日)
関原発第68号(令和元年5月16日)
関原発第115号(令和元年6月24日)

- 4 検査期日 自 令和元年6月20日
至 令和元年6月28日

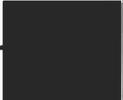
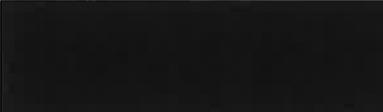
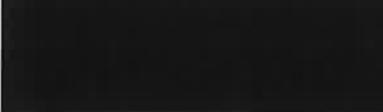
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦

- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機
発電用原子炉施設
計測制御系統施設
放射線管理施設
その他発電用原子炉の附属施設
基本設計方針^{※1}

※1: 緊急時対策所(1・2・3・4号機共用)に係る範囲のうち
3,4号機共用範囲

- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査	良	令和元年6月20日	令和元年6月20日
		上田 洋 	発電用原子炉主任技術者  印 電気主任技術者  ボイラ・タービン主任技術者 

8. 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査	良	令和元年6月28日	令和元年6月28日
		高須 洋司	発電用原子炉主任技術者 印 電気主任技術者 ボイラー・タービン主任技術者

8. 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 6月 ²¹ / ₂₀ 日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 6月28日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 6月 ²¹ / ₂₀ 日	良	
		令和元年 6月28日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 6月 ²¹ / ₂₀ 日	良	
		令和元年 6月28日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

基本設計方針に係る検査

確認事項	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	令和元年 6月21日	良	
	令和元年 6月28日	良	
	年 月 日		
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表(様式-8)が作成され、申請者の適合性確認検査において緊急時対策所(1・2・3・4号機共用)に係る範囲について漏れなく確認されていること。	令和元年 6月28日	良	
	年 月 日		
	年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

検査年月日: 令和元年 6 月 20 日 21

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した 基本設計方針	記録確認した適合性確認検査 要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
9 発電用原子炉施設 (共通項目) ※1	地盤等	1. 1 地盤 設計基準対象施設のうち、地震の発生によって生じるおそれがあるその安全機能の喪失に起因する放射線による公衆への影響の程度が特に大きい施設（以下「耐震重要施設」という。）の建物・構築物、屋外重要土木構造物、津波防護施設、浸水防止設備及び津波監視設備並びに浸水防止設備又は津波監視設備が設置された建物・構築物について、若しくは、重大事故等対処施設のうち、常設耐震重要重大事故防止設備又は常設重大事故緩和設備が設置される重大事故等対処施設については、自重や運転時の荷重等に加え、その供用中に大きな影響を及ぼすおそれがある地震動（以下「基準地震動」という。）による地震力が作用した場合においても、接地圧に対する十分な支持力を有する地盤に設置す	T1-1-1303、 T1-1-1303.(再検査)		良

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した 基本設計方針	記録確認した適合性確認検査 要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
		<p>る。</p> <p>確認対象： 重大事故等対処施設（緊急時対策所（1・2・3・4号機共用））の地盤</p>		/	
	自然現象	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>2. 1 地震による損傷の防止</p> <p>2. 1. 2 地震による周辺斜面の崩壊に対する設計方針</p> <p>耐震重要施設及び常設耐震重要重大事故防止設備又は常設重大事故緩和設備が設置される重大事故等対処施設については、設置（変更）許可を受けた、基準地震動による地震力により周辺斜面の崩壊の影響がないことが確認された場所に設置する。</p> <p>なお、地震による3号機及び4号機原子炉建屋並びに3号機及び4号機原子炉補助建屋背後斜面の崩壊による、耐震重要施設及び常設耐震重要重大事故防止設備又は常設重大事故緩和設備の安全機能</p>	<p>T1-1-1303 (その2)</p> <p>T1-3-1303</p> <p>T1-3-2004</p>	緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）の周辺斜面	良

8

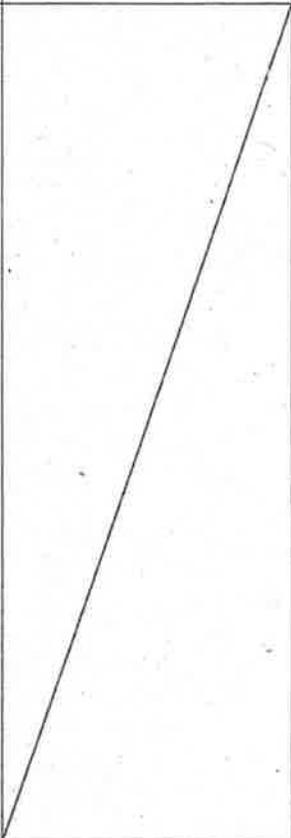
施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した 基本設計方針	記録確認した適合性確認検査 要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
		<p>への影響を防止するため、敷地内土木構造物である抑止ぐい及び連続地中壁を斜面補強設備として設置する。また、緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）の周辺斜面については、より確実に斜面形状の安定性を確保するため変状部を除去する。</p> <p>確認対象： 緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）の周辺斜面</p>			
	設備に対する要求	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>5. 1 安全設備、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備</p> <p>5. 1. 5 環境条件等</p> <p>(1) 環境圧力、環境温度及び湿度による影響、放射線による影響、屋外の天候等による影響並びに荷重</p> <p>屋外の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。操作</p>	T1-3-0104(その3)	/	良

6

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した 基本設計方針	記録確認した適合性確認検査 要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
		<p>は中央制御室から可能な設計又は設置場所で可能な設計とするか、人が携行して使用可能な設計とする。また、地震、積雪及び降下火砕物による荷重を考慮して、機能を損なうことのない設計とするとともに可搬型重大事故等対処設備については、地震後においても機能及び性能を保持する設計とする。</p> <p>確認対象： 屋外の重大事故等対処設備（緊急時対策所非常用空気浄化仮設ダクト及び接続口）</p>		/	
	その他	<p>確認した基本設計方針： 6. 2 発電用原子炉施設への人の不法な侵入等の防止 探知施設を設け、警報、映像監視等により、集中監視するとともに、外部との通信連絡を行う設計とする。</p>	T1-3-1508	/	良

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した 基本設計方針	記録確認した適合性確認検査 要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
		確認対象： 探知施設（監視カメラ等）		/	
計測制御系統施設 ^{*1}	計測制御系統施設	確認した基本設計方針： 1. 4 通信連絡設備（1・2・3・4号機共用） 1. 4. 1 通信連絡設備（発電所内） 緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）へ重大事故等に対処するために必要なデータを伝送できるデータ伝送設備（発電所内）として、安全パラメータ表示システム（SPDS）を制御建屋に一式設置し、SPDS表示装置を緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）に必要数量一式設置する。 確認対象：SPDS表示装置	T1-1-0802	SPDS表示装置	良
放射線管理施設 ^{*1}	放射線管理施設	確認した基本設計方針： 1. 1 放射線管理用計測装置 1. 1. 3 固定式周辺モニタリング設備	T1-3-1112(その2)	/	良

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した 基本設計方針	記録確認した適合性確認検査 要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
		<p>通常運転時、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時におけるモニタステーション及びモニタポストから中央制御室までのデータ伝送系及び緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）までのデータ伝送系は多様性を有する設計とする。</p> <p>確認対象： 緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）までのデータ伝送系</p>		/	
	換気装置、生体遮蔽装置	<p>確認した基本設計方針： 2.2 換気設備 空気供給装置は、緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）内への希ガス等の放射性物質の侵入を防止するための設備であり、緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）の空気の漏れ（0.15回/h）を考慮しても、室内を正圧に加圧できる容量として、1本当たりの空気容量が</p>	<p>T1-3-1107 T1-1-1101</p>	空気供給装置	良

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した 基本設計方針	記録確認した適合性確認検査 要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
		8. 6Nm ³ の空気ポンペを 720 本以上 (予備 1) 保管する。 確認対象：空気供給装置			
その他発電用原子炉 の附属施設 ^{*1}	交流電源設備 (非常 用電源設備)	確認した基本設計方針： 2. 4 負荷に直接接続する電源設 備 2. 4. 2 電源車 (緊急時対策所 用) 電源車 (緊急時対策所用) (発電 機) (1・2・3・4号機共用 (以 下同じ。)) は、緊急時対策所電源 車切替盤 (1・2・3・4号機共 用) (440V、289A 以上のものを 1 個)、緊急時対策所コントロールセ ンタ (1・2・3・4号機共用) (440V、600A のものを 1 個) 及び 緊急時対策所 100V 主分電盤 (1・2・3・4号機共用) (100V、 488A 以上のものを 1 個) を経由し て緊急時対策所 (緊急時対策所建 屋内) (1・2・3・4号機共用)	T1-3-0901 (その2)		良

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した 基本設計方針	記録確認した適合性確認検査 要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
		<p>(緊急時対策所非常用空気浄化ファン、SPDS表示装置、衛星電話(固定)、衛星電話(携帯)、衛星電話(可搬)、緊急時衛星通報システム及び統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備を含む)へ給電できる設計とする。</p> <p>確認対象： 緊急時対策所電源車切替盤</p>		/	
	直流電源設備及び計器用電源設備(非常用電源設備)	<p>確認した基本設計方針： 3. 5取水路防潮ゲート電源装置 中央制御室からの遠隔閉止信号により、ゲート落下機構を解放しゲート扉体を自重落下させるため、中央制御室遠隔操作盤(機械式)(100V、1A以上のものを1個)(1・2・3・4号機共用、1号機に設置)、中央制御室遠隔操作盤(電磁式)(100V、1A以上のものを1個)(1・2・3・4号機共用、1号機に設置)、機械式用遠隔操作</p>	<p>T1-1-1003 T1-3-1006</p>	/	良

17

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した 基本設計方針	記録確認した適合性確認検査 要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
		<p>盤電源切替盤 (100V、1A 以上のものを1個) (1・2・3・4号機共用、1号機に設置)、電磁式用遠隔操作盤電源切替盤 (100V、1A 以上のものを1個) (1・2・3・4号機共用、1号機に設置) 及び緊急閉止盤(機械式)電源切替盤(100V、3A 以上のものを1個) (1・2・3・4号機共用、3号機に設置)、緊急閉止盤(電磁式)電源切替盤(100V、2A 以上のものを1個) (1・2・3・4号機共用、3号機に設置) を設ける設計とする。</p> <p>確認対象： 中央制御室遠隔操作盤(機械式)</p>		/	
	<p>火災防護設備の基本設計方針 (火災防護設備)</p>	<p>確認した基本設計方針： (2) 火災の感知及び消火 a. 火災感知設備 火災感知設備のうち火災受信機盤 (「1・2号機共用、1号機に設置」、「3号機設備、1・2・3・</p>	<p>T1-3-1003 T1-3-1003 (その2)</p>	<p>火災受信機盤</p>	<p>良</p>

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した 基本設計方針	記録確認した適合性確認検査 要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
		<p>4号機共用、3号機に設置」、「1・2・3・4号機共用、1号機に設置」(以下同じ。))は、作動した火災感知器を1つずつ特定できるアナログ式の受信機とし、中央制御室において常時監視できる設計とする。</p> <p>なお、重大事故等に対処する場合を考慮して、緊急時対策所(緊急時対策所建屋内)においても監視できる設計とする。</p> <p>確認対象:火災受信機盤(1・2・3・4号機共用、1号機に設置)</p>			
	緊急時対策所(緊急時対策所)	<p>確認した基本設計方針:</p> <p>1. 1 緊急時対策所の設置等</p> <p>(3) 緊急時対策所(緊急時対策所建屋内)は、以下の措置又は設備を備えることにより緊急時対策所機能を確保する。</p> <p>a. 居住性の確保</p> <p>1次冷却材喪失事故等あるいは</p>	T1-3-1104	/	良

19

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した 基本設計方針	記録確認した適合性確認検査 要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
		<p>重大事故等が発生した場合において、緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）内の酸素濃度及び二酸化炭素濃度が事故対策のための活動に支障がない範囲にあることを正確に把握できるよう、可搬型の酸素濃度計（1・2・3・4号機共用、1号機に保管（以下同じ。））及び二酸化炭素濃度計（1・2・3・4号機共用、1号機に保管（以下同じ。））を、使用する1個以上と故障時及び保守点検時のバックアップ用として2個を含めて合計3個以上保管する。</p> <p>確認対象： 可搬型の酸素濃度計、二酸化炭素濃度計</p>		/	

※1：緊急時対策所（1・2・3・4号機共用）に係る範囲のうち
3,4号機共用範囲

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

検査年月日: 令和元年 6月28日

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した 基本設計方針	記録確認した適合性確認検査 要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
発電用原子炉施設 (共通項目) ※1	設備に対する要求	確認した基本設計方針： 5. 1 安全設備、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備 5. 1. 5 環境条件等 (4) 周辺機器等からの悪影響 可搬型重大事故等対処設備は、地震の波及的影響により、それぞれ重大事故等及び設計基準事故に対処するための必要な機能を損なわないように、可搬型重大事故等対処設備は、設計基準事故対処設備及び使用済燃料ピットの冷却機能若しくは注水機能を有する設備の配置も含めて常設重大事故等対処設備と位置的分散を図り、可搬型重大事故等対処設備は、その機能に応じて、すべてを一つの保管	T1-3-0703	可搬型重大事故等対処設備(可搬型計測器)	良

18/E

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した 基本設計方針	記録確認した適合性確認検査 要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
		<p>場所に保管することなく、一部は離れた位置の保管場所に分散配置する。</p> <p>確認対象： 可搬型重大事故等対処設備（可搬型計測器）</p>			
放射線管理施設※1	放射線管理施設	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 1 放射線管理用計測装置 1. 1. 5 環境測定装置</p> <p>重大事故等が発生した場合に、発電所において風向、風速その他の気象条件を測定し、及びその結果を記録するために必要な重大事故等対処設備として、可搬型気象観測装置（1・2・3・4号機共用、1号機に保管（以下同じ。）個数1（予備1）を保管する。</p> <p>確認対象：可搬型気象観測装置</p>	T1-3-0704	可搬型気象観測装置	良

※1：緊急時対策所（1・2・3・4号機共用）に係る範囲のうち
3,4号機共用範囲

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99

成績書管理番号：1-53-4

令和2年12月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-53-4

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年12月17日
至 令和2年12月17日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第46号(平成30年4月20日) 関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第259号(平成30年8月20日) 関原発第415号(平成30年12月5日) 関原発第504号(平成31年2月1日) 関原発第512号(平成31年2月6日) 関原発第582号(平成31年3月18日) 関原発第3号(平成31年4月4日) 関原発第68号(2019年5月16日) 関原発第115号(2019年6月24日) 関原発第204号(2019年8月23日) 関原発第478号(2020年1月23日) 関原発第510号(2020年1月31日) 関原発第542号(2020年2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第20号(2020年4月7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-53-4

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和2年 12月17日	良	上田 洋	発電用原子炉主任技術者  ボイラー・タービン主任技術者 	なし

a

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-53-4

検査年月日：令和 2 年 12 月 17 日

検査場所：高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-53-4

検査年月日：令和 2 年 12 月 17 日

検査場所：高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	◎ 良 ・ ー	
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。	◎ 良 ・ ー	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号：1-53-4

検査年月日：令和 2 年 12 月 17 日

検査場所：高浜発電所

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
	緊急時対策所 緊急時対策所 機能	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>d. 有毒ガスに対する防護措置</p> <p>緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）は、有毒ガスが重大事故等に対処するために必要な指示を行う要員（以下「指示要員」という。）に及ぼす影響により、指示要員の対処能力が著しく低下し、安全施設の安全機能が損なわれないよう、緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）内にとどまり必要な指示、操作を行うことができる設計とする。</p>	<p>T1-3-0417</p> <p>T1-3-1516</p>	<p>3号機及び4号機の塩酸貯槽、アンモニア貯槽及びヒドラジン原液タンクの防液堤及びその開口部面積</p>	<p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p>	<p>良</p>

9

その他発電用原子炉の附属施設	<p>敷地内外において貯蔵施設に保管されている有毒ガスを発生させるおそれのある有毒化学物質（以下「固定源」という。）及び敷地内において輸送手段の輸送容器に保管されている有毒ガスを発生させるおそれのある有毒化学物質（以下「可動源」という。）それぞれに対して有毒ガスが発生した場合の影響評価（以下「有毒ガス防護に係る影響評価」という。）を実施する。</p> <p>有毒ガス防護に係る影響評価に当たっては、「有毒ガス防護に係る影響評価ガイド」を参照して評価を実施し、有毒ガスが大気中に多量に放出されるかの観点から有毒化学物質の性状、貯蔵状況等を踏まえ、固定源及び可動源を特定する。</p> <p>固定源に対しては、固定源の有毒ガス影響を軽減することを期待する防液堤等の現場の設置状況を踏まえ、評価条件を設定し、指示要員の吸気中の有毒ガス濃度の評価結果が、有毒ガス防護のための判断基準値を下回るよう設計する。</p> <p>可動源に対しては、緊急時対策所換気設備（1・</p>				
----------------	--	--	--	--	--

	<p>2・3・4号機共用)の隔離等の対策により指示要員を防護できる設計とする。</p> <p>有毒ガス防護に係る影響評価において、有毒ガス影響を軽減することを期待する防液堤等は、必要に応じて保守管理及び運用管理を適切に実施する。</p> <p>確認対象：</p> <ul style="list-style-type: none">・3号機及び4号機の塩酸貯槽、アンモニア貯槽及びヒドラジン原液タンクの防液堤及びその開口部面積・事務棟資機材保管庫の防毒マスク等の配備				
--	--	--	--	--	--

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

系統名 : 燃料取扱設備

新燃料又は使用済燃料を取扱う機器

使用済燃料ピットクレーン

要領書番号 : 原規規収第 1610071 号 2-01

平成30年7月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第299号(平成28年10月7日)
関原発第434号(平成30年3月20日)
関原発第46号(平成30年4月20日)
関原発第202号(平成30年7月4日)
- 4 検査期日 自 平成30年7月26日
至 平成30年7月26日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機
発電用原子炉施設
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
燃料取扱設備
新燃料又は使用済燃料を取扱う機器
使用済燃料ピットクレーン 1個
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 9 添付資料 使用前検査記録
1 検査前確認事項
2 材料検査記録
3 寸法検査記録
4 外観検査記録
5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
平成30年 7月26日	中田 聡  奥本 昭治 	ボイラー-タービン 主任技術者 	なし
年 月 日		主任技術者	
年 月 日		主任技術者	

検査結果一覧表

系統名：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 燃料取扱設備 新燃料又は使用済燃料を取扱う機器

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け 状態を確認する 検査	備考
検査日	平成 30 年 7 月 26 日				
結果	良	良	良	良	
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
結果					
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
結果					

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 7月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 7月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 7月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 7月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	平成30年 7月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 7月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 7月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 7月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 7月26日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機				
材料検査記録				
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所				
検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 燃料取扱設備 新燃料又は使用済燃料を取扱う機器 使用済燃料ピットクレーン				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	材料	検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットクレーン (ホイストレール)		平成30年 7月26日	良	記録確認
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-0101 				

高浜発電所第1号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 燃料取扱設備 新燃料又は使用済燃料を取扱う機器 使用済燃料ピットクレーン

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
使用済燃料ピットクレーン	走行サドル長さ			平成30年 7月26日	良	記録確認
	高さ					
	ホイストレール幅					
	ホイストレール高さ					

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-0101

高浜発電所第1号機			
外観検査記録			
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所			
検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 燃料取扱設備 新燃料又は使用済燃料を取扱う機器 使用済燃料ピットクレーン			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットクレーン	平成30年 7月26日	良	(目視) / 記録確認
備考 記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号。			

高浜発電所第1号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 燃料取扱設備

新燃料又は使用済燃料を取扱う機器 使用済燃料ピットクレーン

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットクレーン	平成30年 7月26日	良	目視 記録確認

備考

記録確認は、申請者の品質記録(※)による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99

成績書管理番号：2-02

令和2年9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：2-02

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年9月23日
至 令和2年9月23日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第46号(平成30年4月20日) 関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第259号(平成30年8月20日) 関原発第415号(平成30年12月5日) 関原発第504号(平成31年2月1日) 関原発第512号(平成31年2月6日) 関原発第582号(平成31年3月18日) 関原発第3号(平成31年4月4日) 関原発第68号(2019年5月16日) 関原発第115号(2019年6月24日) 関原発第204号(2019年8月23日) 関原発第478号(2020年1月23日) 関原発第510号(2020年1月31日) 関原発第542号(2020年2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第20号(2020年4月7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-02

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 9月23日	良	渋谷 徹 	ボイラー-7-ゼン 主任技術者 	なし

ω

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：2-02

検査年月日：令和 2 年 9 月 23 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-02

検査年月日：令和2年9月23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・⊖	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-02

検査年月日：令和2年 9月 23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
核燃料物資の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック（バーナブルポイズン保管用ラック） 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-1902 ・別添1のヒタリ、撤去を伴っていることを確認した。 一日視で確認した範囲：			

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

3 使用済燃料貯蔵設備に係る次の事項

(3) 使用済燃料貯蔵ラックの名称、種類、容量、主要寸法、材料及び個数

			変更前	変更後
名称			バーナブルポイズン保管用ラック	撤去
種	類	—	たて置角型	
容	量	体	43	
主要寸法	中心間距離	mm	[REDACTED]	
	内のり	mm		
	全高	mm		
材	料 ^(注1)	—	SUS304	
個	数	—	1	

(注1) 公称値

(注2) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「本体材料」と記載

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99
成績書管理番号：2-03

令和2年7月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：2-03

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年2月7日
至 令和2年7月17日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	
	関原発第299号(平成28年10月7日)
	関原発第434号(平成30年3月20日)
	関原発第46号(平成30年4月20日)
	関原発第202号(平成30年7月4日)
	関原発第259号(平成30年8月20日)
	関原発第415号(平成30年12月5日)
	関原発第504号(平成31年2月1日)
	関原発第512号(平成31年2月6日)
	関原発第582号(平成31年3月18日)
	関原発第3号(平成31年4月4日)
	関原発第68号(2019年5月16日)
	関原発第115号(2019年6月24日)
	関原発第204号(2019年8月23日)
	関原発第478号(2020年1月23日)
	関原発第510号(2020年1月31日)
	関原発第542号(2020年2月26日)
	関原発第609号(2020年3月24日)
	関原発第20号(2020年4月7日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-03

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 2月7日	良	増本 豊	ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted]	なし

ω

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：2-03

検査年月日：令和2年 2月 7日

検査場所：IMIジャパン株式会社

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	Ⓔ・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	Ⓔ・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	Ⓔ・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号：2-03

検査年月日：令和2年 2月 7日

検査場所：IMIジャパン株式会社

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号：2-03

検査年月日：令和2年 2月 7日

検査場所：IMIジャパン株式会社

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 計測制御系統施設 一次冷却材の循環設備 ほう酸注入機能を有する設備 主要弁 別紙1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 耐圧検査 漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-0705 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号: 2-03

検査年月日: 令和2年 2月 7日

検査場所: IMIジャパン株式会社

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
1PCV-444A 1PCV-445	耐圧検査 漏えい検査	別紙2参照	良	目視
以下余白				
備考				

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：2-03

検査年月日：令和2年2月7日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査 漏えい検査	圧力計				2020,01,10 2020,07,31	
耐圧検査 漏えい検査	圧力計				2020,01,10 2020,07,31	
以下余白						

設 備 概 要

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては次の事項

4 一次冷却材の循環設備に係る次の事項

(6) 主要弁の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、駆動方法、個数及び取付箇所

名 称	変 更 前	変 更 後
	種 別	IPCY-444A、445 止め弁
最 高 使 用 圧 力	MPa 17.16	同左 18.5
最 高 使 用 温 度		
主 要 呼 び 径		
主 要 寸 法		
材 料		
駆 動 方 法	空気作動	
個 数	2	
系 統 名	IPCY-444A	IPCY-445
モ ー タ ー 名	加圧器速がしライン	加圧器速がしライン
取 付 箇 所		同左
注 意 事 項		

別紙1-1（令和2年2月7日）

9

別紙1-2 (令和2年2月7日)



検査対象	最高使用圧力 MPa	耐圧検査圧力 MPa ^{*2}	保持時間 分	漏えい検査圧力 MPa	水圧、気圧 区分
1PCV-444A	17.16 18.5 ^{*1}	22.5	4分	22.5	水圧
1PCV-445	17.16 18.5 ^{*1}	22.5	4分	22.5	水圧
備考 ※1：重大事故等時における使用時の値 ※2：最高使用圧力×1.25 (17.16MPa×1.25=21.45Mpa) 以上					

11

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-03

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 7月17日	良	吉村直輝 	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし

12

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：2-03

検査年月日：令和2年 7 月 17 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号：2-03

検査年月日：令和2年 7月 17日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-03

検査年月日：令和2年 7月 17日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 計測制御系統施設 一次冷却材の循環設備 ほう酸注入機能を有する設備 主要弁 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
外観検査 組立て及び据付け状態検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 目視 </div> 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ・※ 適合性確認検査成績書の識別番号！ ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：2-03

検査年月日：令和2年 7月 17日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
1PCV-444A 1PCV-445	外観検査 組立て及び据付け状態検査	—	良	目視
以下余白				
備考				

設 備 概 要

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては次の事項

4 一次冷却材の循環設備に係る次の事項

(6) 主要弁の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、駆動方法、個数及び取付箇所

名 称		変 更 前	変 更 後
名 称		1PCV-444A、445 ^(注1)	1PCV-444A、445 ^(注2)
種 類	-	止め弁 ^(注3)	同左
最 高 使 用 圧 力	MPa	17.16 ^(注4)	同左 18.5 ^(注5)
最 高 使 用 温 度	℃		
主 要 寸 法	呼 び 径 ^(注6)		
	弁 箱 厚 さ		
	弁 ふ た 厚 さ		
材 料	弁 箱 ^(注9)		
	弁 ふ た		
駆 動 方 法	-	空気作動 ^(注11)	
個 数	-	2	
(注12) 取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	1PCV-444A 加圧器逃がしライン	1PCV-445 加圧器逃がしライン
	設 置 床		
	溢水防護上の区画番号		
	溢水防護上の配慮が 必要 な 高 さ		

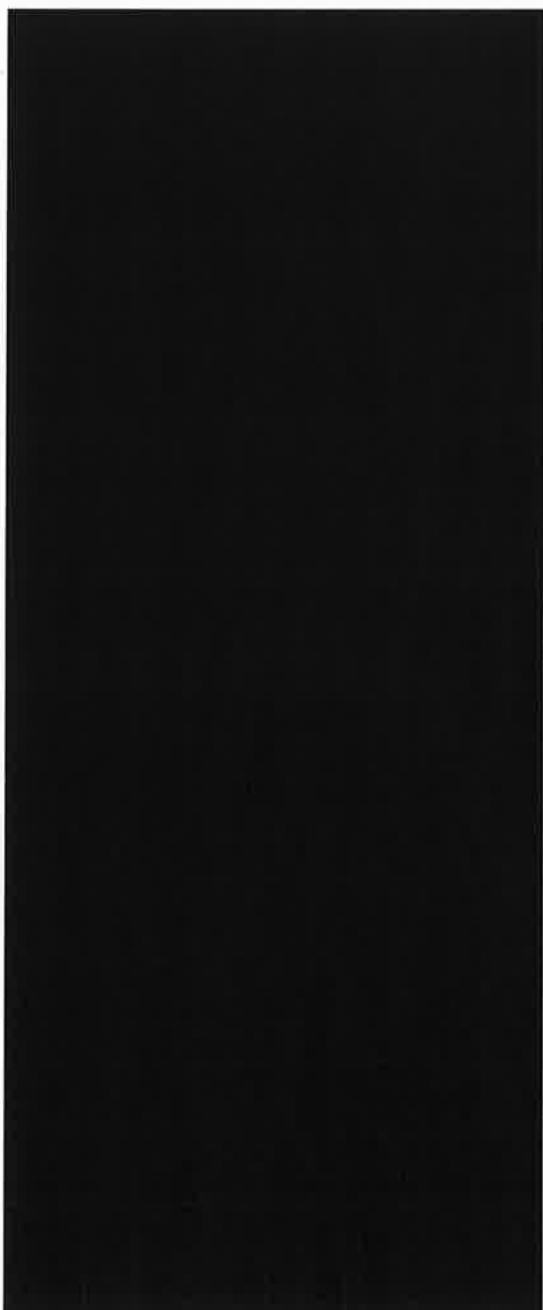
7

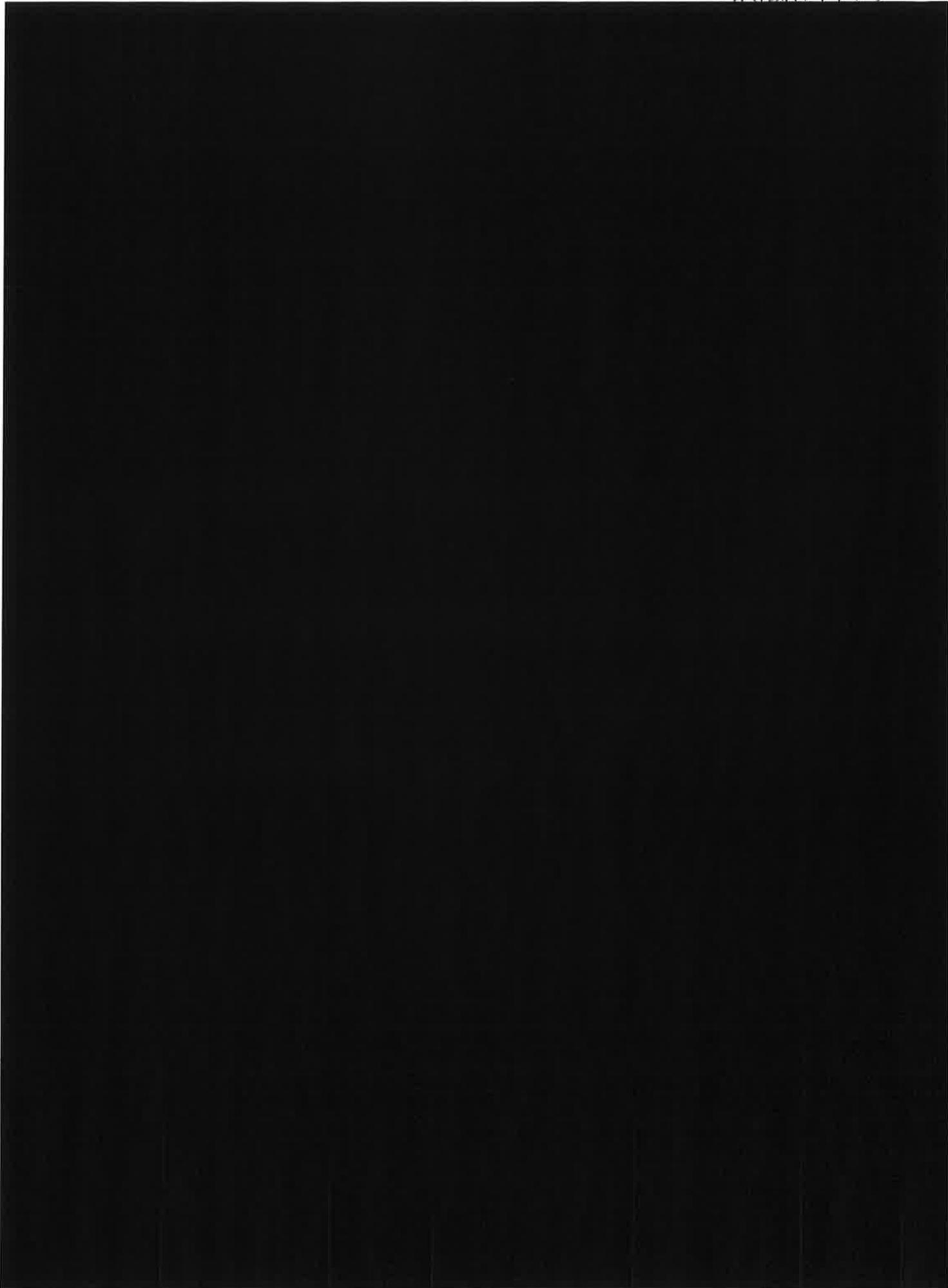


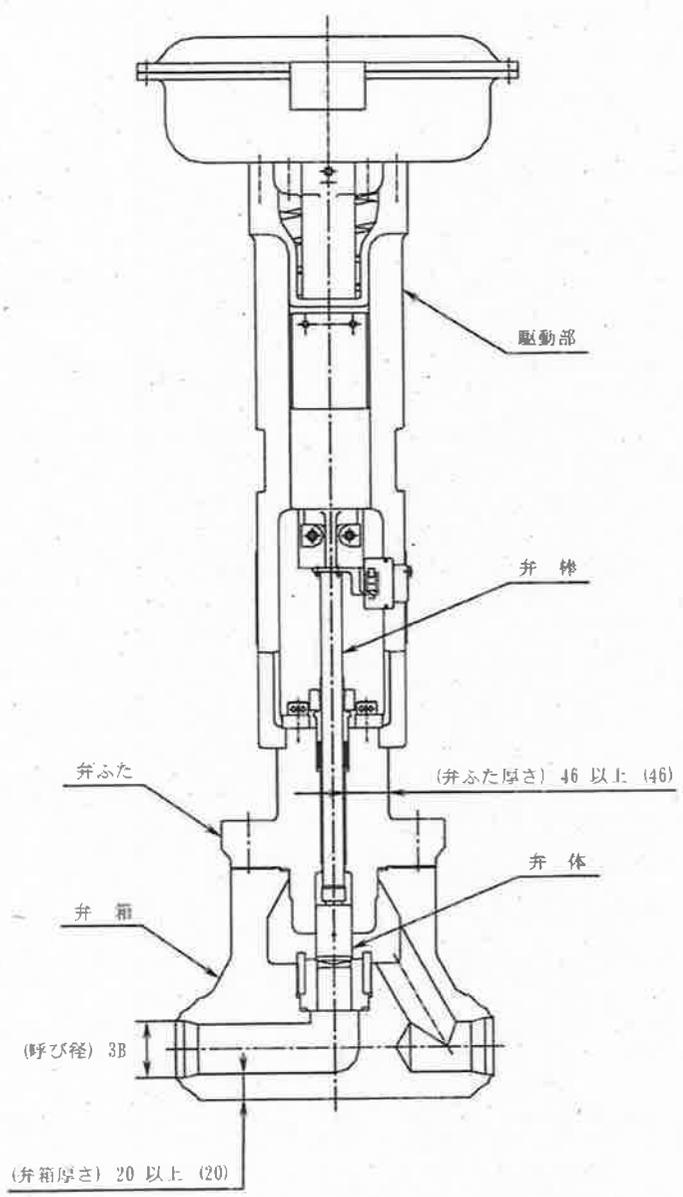
別添1(1)
2020.7.17

別添(2)

2020.7.17







主要目表			
種	類	-	止め弁
最	高	使	用
圧	力	MPa	17.16 18.5
最	高	使	用
温	度	℃	
材	弁	箱	-
	弁	ふ	た
駆	動	方	法
			空気作動
個	数	-	2
取	系	統	名
		(ラ
	イ	ン	
	名		
設	置	床	
溢	水	防	護
上	の	区	画
番	号		
溢	水	防	護
上	の	配	慮
が	必	要	な
高	さ		

(単位: mm)

別添(4)
2020.7.17

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99

成績書管理番号：2-04

令和2年7月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：2-04

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年3月2日
至 令和2年7月10日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第46号(平成30年4月20日) 関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第259号(平成30年8月20日) 関原発第415号(平成30年12月5日) 関原発第504号(平成31年2月1日) 関原発第512号(平成31年2月6日) 関原発第582号(平成31年3月18日) 関原発第3号(平成31年4月4日) 関原発第68号(2019年5月16日) 関原発第115号(2019年6月24日) 関原発第204号(2019年8月23日) 関原発第478号(2020年1月23日) 関原発第510号(2020年1月31日) 関原発第542号(2020年2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第20号(2020年4月7日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-04

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 3月2日	良	山形英男	ポーター-ターゼン 主任技術者	なし

ω

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-04

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 5月14日	良	原子力検査官 増本 豊 	ボイラー-タービン 主任技術者 	なし

+

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-04

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 7月10日	良	山形英男 増本豊	ボイラー-7-セシ 主任技術者	なし

4

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：2-04

検査年月日：令和 2 年 3 月 2 日

検査場所：三菱重工業(株)

パワードメイン 原子力事業部

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良 —	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良 —	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良 —	

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：2-04

検査年月日：令和 2 年 5 月 14 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：2-04

検査年月日：令和2年 7月 10日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	⊙・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	⊙・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	⊙・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (1号検査)

成績書管理番号：2-04

検査年月日：令和2年 3月 2日

検査場所：三菱重工業(株)

パワードメイン 原子力事業部

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	◎立会 記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-04

検査年月日：令和2年 5月 14日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-04

検査年月日：令和2年 7月 10日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (1号検査)

成績書管理番号：2-04

検査年月日：令和2年 3月 2日

検査場所：三菱重工業(株)

パワードメイン 原子力事業部

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査* ¹ 耐圧検査* ² 漏えい検査* ²	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">記録確認</div> </div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-1919 *1：部品番号007の一部を除き、記録確認実施 *2：立会検査のみ実施 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-04

検査年月日：令和2年 5月 14日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管 別添1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
寸法検査※1 耐圧検査 漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-1919 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：部品番号007（令和2年3月2日の確認分以外）について、記録確認実施			

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-04

検査年月日：令和2年 7月 10日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管 別添1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
耐圧検査※ ¹ 漏えい検査※ ¹ 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-1919 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：部品番号001及び007の溶接部について、記録確認実施（代替検査）			

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
 (1号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：2-04

検査年月日：令和2年 3月 2日

検査場所：三菱重工業(株)

パワードメイン 原子力事業部

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管 (別添1参照)	耐圧検査 漏えい検査	別添3参照	良	目視
備考 ※：別添2の範囲について確認				

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：2-04

検査年月日：令和2年5月14日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管 (別添1参照)	耐圧検査 漏えい検査	別添3参照	良	目視
備考 ※：別添2の範囲について確認				

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：2-04

検査年月日：令和2年 7月 10日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管 (別添1参照)	外観検査 組立て及び据付け状 態を確認する検査	—	良	目視
備考 ※：別添2の範囲について確認				

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：2-04

検査年月日：令和2年 3月 2日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査 漏えい検査	圧力計				2020.2.25 2020.8.31	F.S.:フルスケール
-以下余白-						

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：2-04

検査年月日：令和2年5月14日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査 漏えい検査	圧力計				2020.3.10 2020.6.30	正
耐圧検査 漏えい検査	圧力計				2020.3.10 2020.6.30	副
以下余白						

設 備 概 要

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

原規規発第1606104号

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料	名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料
	圧 力	温 度					圧 力	温 度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		
(注22) 加圧器 ～ 弁 (1V-8010A、B、C)	(注2) 17.16	360	(注3) 168.3	(注3、23) 18.3	SUS32TP	(注6) 加圧器 ～ 弁 (1V-8010A、B、C)	変更なし (注7) 18.5				変更なし
一次冷却材の循環設備	(注24)		(注3) 168.3	(注3、23) 18.3	SUS32TP	一次冷却材の循環設備	(注6)				変更なし
	加圧器 ～ 弁 (1MOV-8000A、B)	(注2) 17.16	360	(注3、11) 168.3	(注3、11) 18.3		(注11) SUS32TP	変更なし (注7)	変更なし		同左 (注43、44)
	入口			(注3、11) 168.3	(注3、11) 18.3						同左 (注43、44)
	レギュレーサ (6×3)			168.3	18.3		(注11) SUS32TP				同左 (注43、44)
			168.3	18.3						同左 (注43、44)	

20

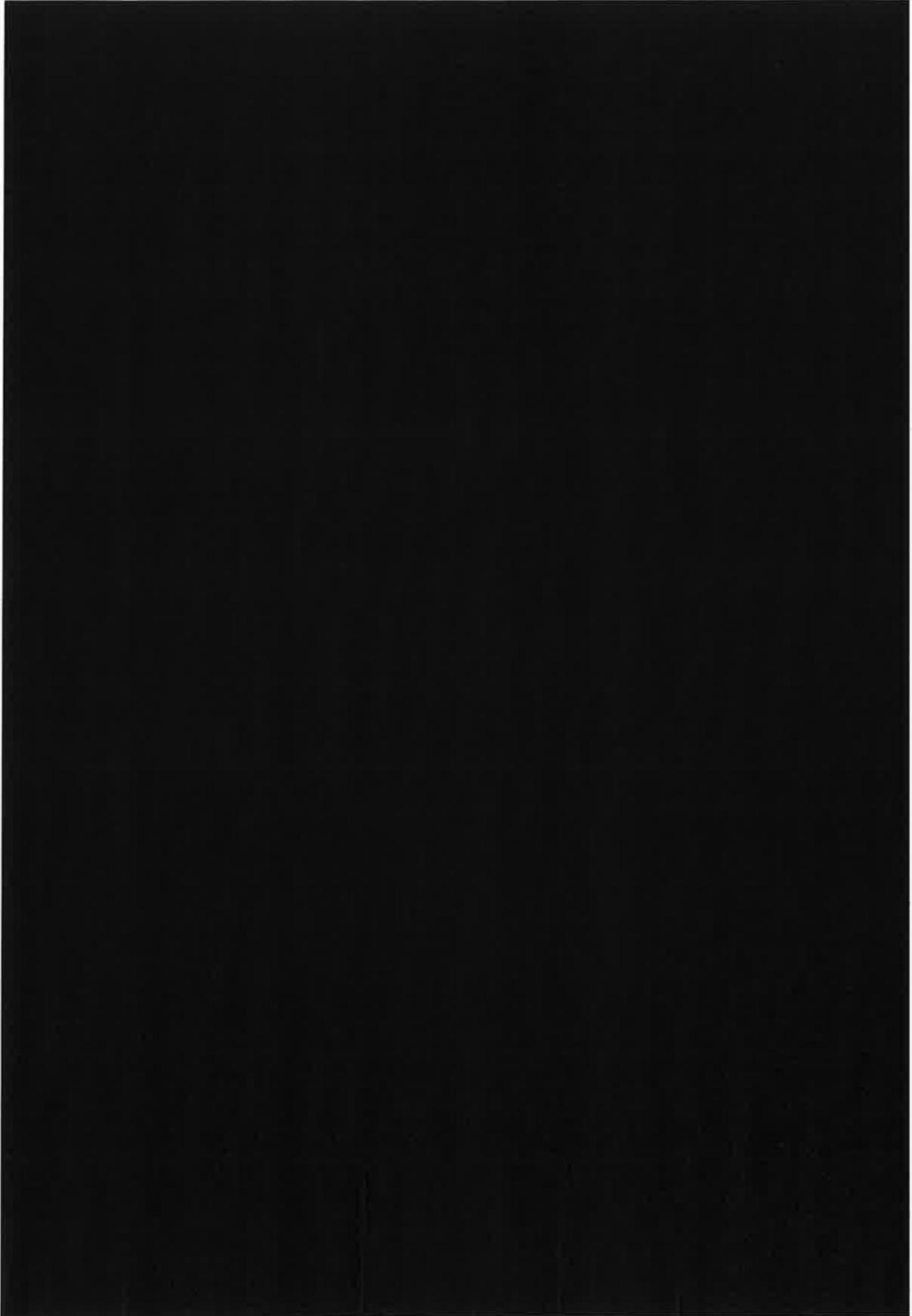
別添1 (1/6) (令和2年3月2日)

12

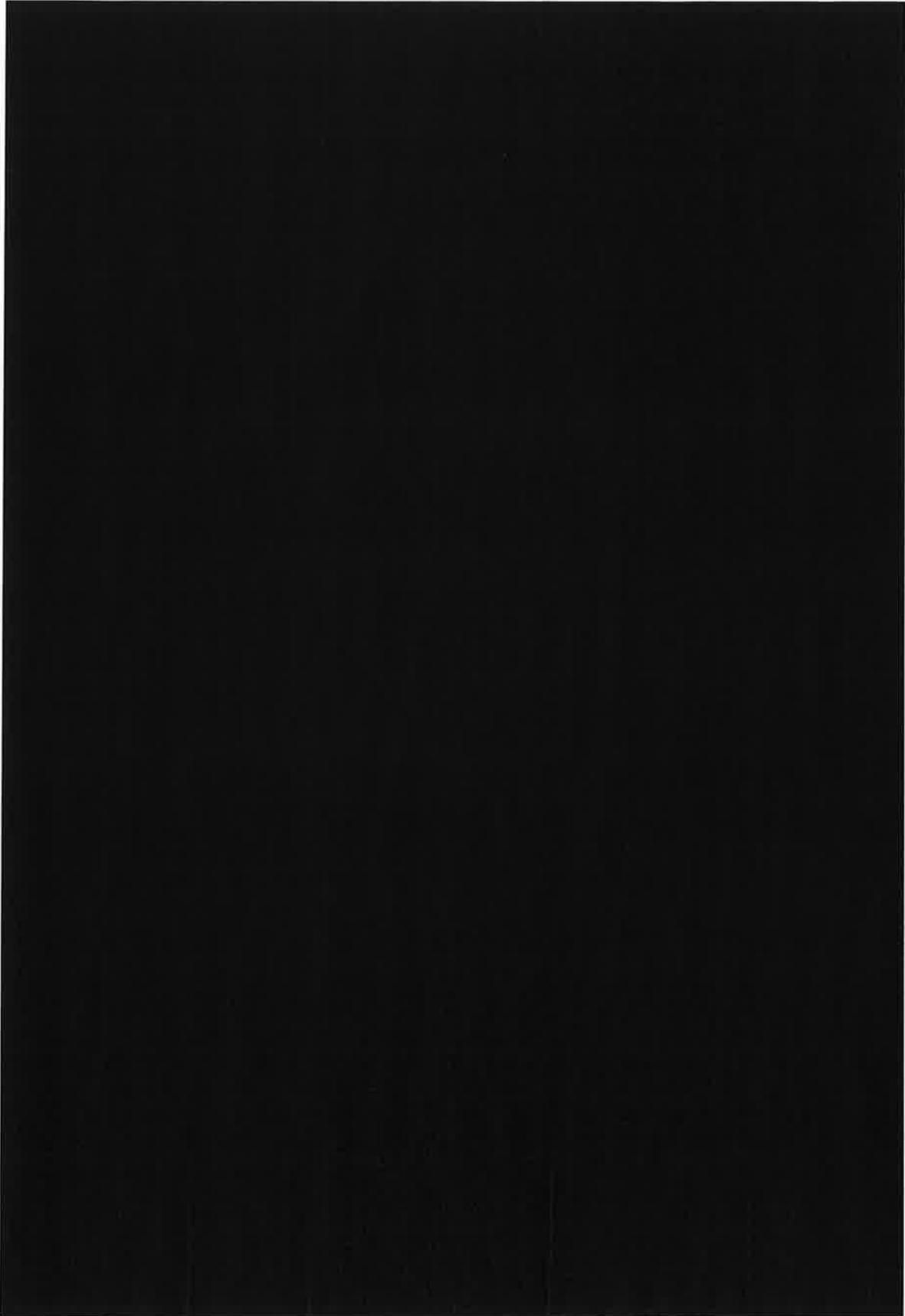
変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
(注26) 弁 (1MOV-8000A、B) 入口 レジューサ (6×3) ~ 弁 (1PCV-444A、 1PCV-445)	(注2) 17.16	360	(注3) 88.9	(注3) 11.1	SUS27TP	(注6) 弁 (1MOV-8000A、B) 入口 レジューサ (6×3) ~ 弁 (1PCV-444A、 1PCV-445)	変更なし (注7) 18.5	変更なし	変更なし		
									同左 (注43、45)		

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
一次冷却材の循環設備	(注41) 弁 (1V-8940A、B、C) ～ 6B 安全注入系 ライン用管台			(注3) 168.3	(注3.25) 18.3	SUS316TP	変更なし				
	(注42) 弁 (1V-8945A、B、C) ～ 6B 安全注入系 ライン用管台	17.16	343	(注3) 168.3	(注3.25) 18.3	SUS316TP	(注6) 弁 (1V-8945A、B、C) ～ 6B 安全注入系 ライン用管台	変更なし (注7) 18.5	変更なし (注7) 360	変更なし	

別添1 (4/6) (令和2年3月2日)



別添1 (5/6) (令和2年3月2日)



別添1 (6/6) (令和2年3月2日)









検査対象※1	最高使用圧力 (MPa)※2	耐圧検査 規定圧力 (MPa)	耐圧検査時 圧力 (MPa)	保持時間 (分)	漏えい検査時圧 力(MPa)	水圧、気圧 区分
加圧器 ～ 弁 (1MOV-8000A、B) 入口レギュレーサ (6×3)	17.16 18.5	21.45	22.0	11	22.0	水圧
備考 ※1：部品番号001・007の範囲について実施 ※2：重大事故等時における使用時の値						

検査対象	最高使用圧力 MPa	耐圧検査圧力 MPa ^{*2}	保持時間 分	漏えい検査圧力 MPa	水圧、気圧 区分
加圧器～弁 (1MOV-8000A、B) 入口レギュレーサ (6×3)	17.16 18.5 ^{*1}	22.0	11	22.0	水圧
弁 (1MOV-8000A、B) 入口レギュレーサ (6×3)～弁 (1PCV-444A、1PCV-445)	17.16 18.5 ^{*1}	22.0	11	22.0	水圧
備考 ※1：重大事故等時における使用時の値 ※2：最高使用圧力×1.25 (17.16MPa×1.25=21.45Mpa) 以上					

30/E

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名：原子炉冷却系統施設

系統名：余熱除去設備

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
安全弁及び逃がし弁（常設）

要領書番号：原規規収第1610071号2-05

令和元年12月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第 299号 (平成28年10月7日)
関原発第 434号 (平成30年3月20日)
関原発第 46号 (平成30年4月20日)
関原発第 202号 (平成30年7月4日)
関原発第 259号 (平成30年8月20日)
関原発第 415号 (平成30年12月5日)
関原発第 504号 (平成31年2月1日)
関原発第 512号 (平成31年2月6日)
(以下、別紙参照)
- 4 検査期日 自 平成31年 2月 28日
至 令和元年 12月 16日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
東亜バルブエンジニアリング株式会社
兵庫県尼崎市西立花町
- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機
発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設
余熱除去設備
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
安全弁及び逃がし弁 (常設) 2個
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり

3 検査申請

使用前検査申請番号

関原発第582号(平成31年3月18日)

関原発第 3号(平成31年4月4日)

関原発第 68号(2019年5月16日)

関原発第115号(2019年6月24日)

関原発第204号(2019年8月23日)

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 材料検査記録
- 3 寸法検査記録
- 4 外観検査記録
- 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
- 6 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
平成31年 2月28日	岸 田 国 基 水 戸 侑 哉	ボイラータービン 主任技術者 	なし
令和元年 12月16日	河 田 拓 也	ボイラータービン 主任技術者 	なし
年 月 日		主任技術者	

検査結果一覧表

系統名：余熱除去設備、非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
安全弁及び逃がし弁（常設）

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け 状態を確認する検査	備考
検査日	平成 31 年 2 月 28 日	平成 31 年 2 月 28 日	年 月 日	年 月 日	
結果	良	良			
検査日	年 月 日	年 月 日	令和元 年 12 月 16 日	令和元 年 12 月 16 日	
結果			良	良	
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
結果					

5

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	平成31年 2月28日	良	使用前検査成績書の「3検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 12月16日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	平成31年 2月28日	良	
		令和元年 12月16日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可、届出番号の記載が適切であること。	記録確認	平成31年 2月28日	良	
		令和元年 12月16日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成31年 2月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成31年 2月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成31年 2月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成31年 2月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	平成31年 2月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 12月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 12月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 12月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 12月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機

材料検査記録

検査場所：東亜バルブエンジニアリング株式会社

検査範囲：原子炉冷却系統施設

余熱除去設備

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

安全弁及び逃がし弁（常設）：2個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	使用材料	検査年月日	検査結果	検査方法
1V-8860A（弁箱）		平成31年 2月28日	良	記録確認
1V-8860B（弁箱）		平成31年 2月28日	良	記録確認

備考

- 記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-0206

高浜発電所第1号機

寸法検査記録

検査場所：東亜バルブエンジニアリング株式会社

検査範囲：原子炉冷却系統施設

余熱除去設備

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

安全弁及び逃がし弁（常設）：2個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容値を満足すること。

検査対象		主要寸法 ^{*1} (mm)	許容値 ^{*2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
1V-8860A	呼び径	20	20~20.2	20.0	平成31年 2月28日	良	目視 記録確認
	のど部の径	20	20~20.2	20.0			
	弁座口の径						
	リフト						
1V-8860B	呼び径	20	20~20.2	20.0	平成31年 2月28日	良	目視 記録確認
	のど部の径	20	20~20.2	20.0			
	弁座口の径						
	リフト						

備考

※1：公称値

※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号： T1-1-0206

#12

高浜発電所第1号機			
外観検査記録			
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所			
検査範囲：原子炉冷却系統施設 余熱除去設備 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 安全弁及び逃がし弁（常設）：2個			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
1V-8860A	令和元年 12月16日	良	目視 記録確認
1V-8860B	令和元年 12月16日	良	目視 記録確認
備考 記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号			

高浜発電所第1号機			
組立て及び据付け状態を確認する検査記録			
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所			
検査範囲：原子炉冷却系統施設 余熱除去設備 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 安全弁及び逃がし弁（常設）：2個			
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
1V-8860A	令和元年 12月16日	良	目視 記録確認
1V-8860B	令和元年 12月16日	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号。			

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：平成31年2月28日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	ノギス				2018.6.25	
					2019.6.30	
寸法検査	ノギス				2018.6.25	
					2019.6.30	
寸法検査	シリンダゲージ				2018.12.21	
					2019.12.31	
寸法検査	ダイヤルゲージ				2018.12.21	
		2019.12.31				
寸法検査	マイロメータ	2018.12.21				
		2019.12.31				
寸法検査	テプスゲージ	2018.6.25				
		2019.6.30				

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名 : 原子炉冷却系統施設
計測制御系統施設
原子炉格納施設

系統名 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
ほう酸注入機能を有する設備
圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク

要領書番号 : 原規規収第1610071号2-06

令和元年 11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社 高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第3号(平成31年4月4日)
関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第68号(平成31年5月16日)
関原発第46号(平成30年4月20日) 関原発第115号(令和元年6月24日)
関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第204号(2019年8月23日)
関原発第259号(平成30年8月20日)
関原発第415号(平成30年12月5日)
関原発第504号(平成31年2月1日)
関原発第512号(平成31年2月6日)
関原発第582号(平成31年3月18日)
- 4 検査期日 自 平成30年8月9日
至 令和元年11月1日
- 5 検査場所 三菱重工業株式会社
パワードメイン 原子力事業部
兵庫県神戸市兵庫区和田崎町

関西電力株式会社 高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機
発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設
ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設
圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)
容器
燃料取替用水タンク 1個
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり

8 検査結果 検査結果一覧表のとおり

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 材料検査記録
- 3 寸法検査記録
- 4 外観検査記録
- 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
- 6 耐圧検査、漏えい検査記録

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
平成30年 8月9日	岸田 国基 村上 恒夫	ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted]	なし
平成31年 2月7日	奥本 昭治 須貝 実	ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted]	なし
令和元年 7月4日	平井 隆 須貝 実	ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted]	なし

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和元年 11月1日	須貝 実 	ボイラーターゼン 主任技術者 	なし
年 月 日		主任技術者	
年 月 日		主任技術者	

検査結果一覧表

系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、ほう酸注入機能を有する設備、圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け状態を確認する検査	耐圧検査、漏えい検査	備考
検査日	平成30年 8月9日	平成30年 8月9日	平成30年 8月9日	年 月 日	平成31年 2月8日	
結果	良	良	良	/	良	
検査日	平成31年 2月7日	平成31年 2月7日	平成31年 2月7日	年 月 日	年 月 日	
結果	良	良	良	/	/	
検査日	年 月 日	年 月 日	令和元年 7月4日	年 月 日	年 月 日	事業者が適合性 確認検査を改めて 実施したことから、 検査を追加で 実施
結果	/	/	良	/	/	

5

検査結果一覧表

系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、ほう酸注入機能を有する設備、圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
 容器
 燃料取替用水タンク

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け状態を確認する検査	耐圧検査、漏えい検査	備考
検査日	年 月 日	年 月 日	令和元年 11月 1日	令和元年 11月 1日	年 月 日	
結果			良	良		
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
結果						
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
結果						

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	平成31年 2月7日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 7月4日	良	
		令和元年 11月1日	良	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。	記録確認	平成31年 2月7日	良	
		令和元年 7月4日	良	
		令和元年 11月1日	良	

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 8月9日	良	
		平成31年 2月7日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 8月9日	良	
		平成31年 2月7日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 8月9日	良	
		平成31年 2月7日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 8月9日	良	
		平成31年 2月7日	良	
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	平成30年 8月9日	良	
		平成31年 2月7日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 8月9日	良	
		平成31年 2月7日	良	
		令和元年 7月4日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 8月9日	良	
		平成31年 2月7日	良	
		令和元年 7月4日	良	

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 11月1日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 11月1日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 11月1日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 11月1日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

耐圧検査、漏えい検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成31年 2月8日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成31年 2月8日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	年 月 日		
		年 月 日		
		年 月 日		
系統構成が完了していること。	<input checked="" type="checkbox"/> 立会 記録確認	平成31年 2月8日	良	
	立会/ 記録確認	年 月 日		
	立会/ 記録確認	年 月 日		

高浜発電所第1号機

材料検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	使用材料	検査年月日	検査結果	検査方法
胴板	[REDACTED]	平成30年8月9日	良	記録確認
屋根板		平成30年8月9日	良	
底板		平成30年8月9日	良	
側マンホールふた		平成31年2月7日	良	

備考

- 記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号： T1-1-1906

高浜発電所第1号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 ^{*1} (mm)	許容寸法 ^{*2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
胴内径				平成31年 2月7日	良	記録確認
胴板厚さ				平成31年 2月7日	良	記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-1906

高浜発電所第1号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法* ¹ (mm)	許容寸法* ² (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
屋根板厚さ				平成30年 8月9日	良	記録確認
底板厚さ				平成30年 8月9日	良	記録確認
出口管台(余熱除去ポンプ) 外径				平成31年 2月7日	良	記録確認
出口管台(余熱除去ポンプ) 厚さ				平成31年 2月7日	良	記録確認
出口管台(内部スプレポンプ) 外径				平成31年 2月7日	良	記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号： T1-1-1906

高浜発電所第1号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法※ ¹ (mm)	許容寸法※ ² (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
出口管台(内部スプレッドポンプ)厚さ				平成31年 2月7日	良	記録確認
給水入口管台外径				平成31年 2月7日	良	記録確認
給水入口管台厚さ				平成31年 2月7日	良	記録確認
出口管台(充てん/高压注入ポンプ)外径				平成31年 2月7日	良	記録確認
出口管台(充てん/高压注入ポンプ)厚さ				平成31年 2月7日	良	記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-1906

高浜発電所第1号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法* ¹ (mm)	許容寸法* ² (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
出口管台(燃料取替用水ポンプ)外径				平成31年 2月7日	良	記録確認
出口管台(燃料取替用水ポンプ)厚さ				平成31年 2月7日	良	記録確認
側マンホール管台 外径				平成31年 2月7日	良	記録確認
側マンホール管台 厚さ				平成31年 2月7日	良	記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-1906

高浜発電所第1号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法※ ¹ (mm)	許容寸法※ ² (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
側マンホールふた 厚さ				平成31年 2月7日	良	記録確認
高さ				平成31年 2月7日	良	記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：最小値

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-1906

高浜発電所第1号機

外観検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社 高浜発電所~~

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、
浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料取替用水タンク	平成30年9月9日	良	目視 記録確認

備考

- ・塗装施工前の状態で確認。

~~記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。~~

~~※1：適合性確認検査成績書の識別番号~~

※ 検査対象のうち、底板（外側）について確認

高浜発電所第1号機

外観検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社 高浜発電所~~

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料取替用水タンク	平成31年 2月7日	良	目視 / ※ 記録確認

備考

- ・塗装施工前の状態で確認。
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-1906

※検査対象のうち、底板(外側)を除く範囲について確認

高浜発電所第1号機

外観検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社~~高浜発電所

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料取替用水タンク	令和元年 7月4日	良	目視 ※2※3 記録確認

備考

- ・塗装施工前の状態で確認。
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-1906(再検査)

※2：検査対象のうち、屋根板の溶接部について確認

※3：事業者が適合性確認検査を改めて実施したことから、検査を追加で実施

高浜発電所第1号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料取替用水タンク	令和元年 11月1日	良	目視 記録確認

備考

- ・組立て及び据付け状態で確認。
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。
- ・※1：適合性確認検査成績書の識別番号

高浜発電所第1号機			
組立て及び据付け状態を確認する検査記録			
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所			
検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備） 容器 燃料取替用水タンク：1個			
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料取替用水タンク	令和元年 11月1日	良	目視 記録確認
備考 記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号			

高浜発電所第1号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。
・著しい漏えいがないこと。

検査対象	最高使用 圧力*1 (MPa)	耐圧検査 規定圧力 (MPa)	耐圧検査時 圧力 (MPa)	保持 時間 (分)	漏えい 検査時圧力 (MPa)	水圧、気圧 区分	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料取替用水タンク	大気圧	静水頭圧	静水頭圧	11	静水頭圧	水圧	平成31年 2月8日	良	目視 記録確認

備考

※1：重大事故等時における使用時の値。

~~記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。~~

~~※2：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

・底板の溶接部について、局部漏えい検査及び非破壊試験（放射線透過試験又は浸透探傷試験）を申請者が実施した結果、異常のないことを申請者の記録により確認。 確認 及び

25/E

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名：原子炉冷却系統施設

系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
貯蔵槽

格納容器サンプルB-A

格納容器サンプルB-B

要領書番号：原規規収第1610071号2-07-1

令和元年 8 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社 高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第299号(平成28年10月 7日)
関原発第434号(平成30年 3月20日)
関原発第 46号(平成30年 4月20日)
関原発第202号(平成30年 7月 4日)
関原発第259号(平成30年 8月20日)
関原発第415号(平成30年12月 5日)
関原発第504号(平成31年 2月 1日)
関原発第512号(平成31年 2月 6日)
関原発第582号(平成31年 3月18日)
関原発第 3号(平成31年 4月 4日)
関原発第 68号(令和 元年 5月16日)
関原発第115号(令和 元年 6月24日)
関原発第204号(令和元年 8月23日)
- 4 検査期日 自 令和元年 6月28日
至 令和元年 8月27日
- 5 検査場所 関西電力株式会社 高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機
発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
貯蔵槽
格納容器サンプルB-A 1個
格納容器サンプルB-B 1個

- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 9 添付資料 使用前検査記録
- 1 検査前確認事項
 - 2 材料検査記録
 - 3 寸法検査記録
 - 4 外観検査記録
 - 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
 - 6 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和元年 6月28日	前田 剛 平井 隆	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted]	なし
令和元年 8月27日	平井 隆 環境技官 増本 豊	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted]	なし
年 月 日		主任技術者	

u

検査結果一覧表

系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
貯蔵槽

格納容器サンプルB-A

格納容器サンプルB-B

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け 状態を確認する検査	備考
検査日	令和元年 6月28日	令和元年 6月28日	令和元年 6月28日	年 月 日	
結果	良	良	良		
検査日	令和元年 8月27日	年 月 日	年 月 日	令和元年 8月27日	
結果	良			良	
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
結果					

△

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 6月28日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 8月27日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 6月28日	良	
		令和元年 8月27日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 6月28日	良	
		令和元年 8月27日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 6月28日	良	
		令和元年 8月27日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 6月28日	良	
		令和元年 8月27日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 6月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 6月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 6月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 6月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 6月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月27日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 8月27日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設
 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
 貯蔵槽
 格納容器サンプルB-A：1個
 格納容器サンプルB-B：1個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	材 料	検査年月日	検査結果	検査方法
格納容器 サンプルB-A	鉄筋コンクリート	令和元年 6月28日	良	* 記録確認
格納容器 サンプルB-B				

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号： T1-1-1305

* 構造体コンクリートの圧縮強度を除く。

高浜発電所第1号機				
材料検査記録				
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所				
検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 貯蔵槽 格納容器サンプルB-A：1個 格納容器サンプルB-B：1個				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	材 料	検査年月日	検査結果	検査方法
格納容器 サンプルB-A	鉄筋コンクリート	令和元 年 8 月27 日	良	* 記録確認
格納容器 サンプルB-B				
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-1305 * 構造体コンクリートの圧縮強度を確認。 				

高浜発電所第1号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設
 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
 貯蔵槽
 格納容器サンプルB-A：1個
 格納容器サンプルB-B：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法*1 (mm)	許容値*2 (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
格納容器 サンプルB-A	たて				令和元年 6月28日	良	目視 記録確認
格納容器 サンプルB-B					令和元年 6月28日	良	目視 記録確認
格納容器 サンプルB-A	仕切壁 高さ				令和元年 6月28日	良	目視 記録確認
格納容器 サンプルB-B					令和元年 6月28日	良	目視 記録確認
格納容器 サンプルB-A	仕切壁 厚さ				令和元年 6月28日	良	目視 記録確認
格納容器 サンプルB-B					令和元年 6月28日	良	目視 記録確認
格納容器 サンプルB-A					令和元年 6月28日	良	目視 記録確認
格納容器 サンプルB-B					令和元年 6月28日	良	目視 記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：~~T7-1-1305~~

高浜発電所第1号機			
外観検査記録			
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所			
検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 貯蔵槽 格納容器サンプルB-A：1個 格納容器サンプルB-B：1個			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
格納容器サンプルB-A	令和元年 6月28日	良	目視
格納容器サンプルB-B	令和元年 6月28日	良	目視
備考 ・塗装施工前の状態で確認			

高浜発電所第1号機 組立て及び据付け状態を確認する検査記録			
検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所			
検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 貯蔵槽 格納容器サンプB-A：1個 格納容器サンプB-B：1個			
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
格納容器サンプB-A	令和元年 8月27日	良	目視
格納容器サンプB-B	令和元年 8月27日	良	目視
備考 ・目視可能な範囲での塗装後の外観（有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。）も含めて確認。			

高浜発電所第1号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年 6月28日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	コンパックス				2018/11/15 2020/11/14	

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1610071号99

成績書管理番号 : 2-07-2

令和2年9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：2-07-2

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年9月9日
至 令和2年9月9日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第46号(平成30年4月20日) 関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第259号(平成30年8月20日) 関原発第415号(平成30年12月5日) 関原発第504号(平成31年2月1日) 関原発第512号(平成31年2月6日) 関原発第582号(平成31年3月18日) 関原発第3号(平成31年4月4日) 関原発第68号(2019年5月16日) 関原発第115号(2019年6月24日) 関原発第204号(2019年8月23日) 関原発第478号(2020年1月23日) 関原発第510号(2020年1月31日) 関原発第542号(2020年2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第20号(2020年4月7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-07-2

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
ω 令和2年 9月9日	良	平井 隆 	ボイラー-7-セV 主任技術者 	なし

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：2-07-2

検査年月日：令和2年 9月 9日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号：2-07-2

検査年月日：令和 2 年 9 月 9 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	⊙・－	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	⊙・－	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・⊖	
系統構成が完了していること。	立会/ ⓪記録確認	⊙・－	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-07-2

検査年月日：令和2年 9月 9日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 ろ過装置 別添1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
外観検査 据付検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-I-0307 =目視で確認した範囲：添付資料3-3参照=			

設備概要

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの(蒸気タービンに係るものを除く。)にあつては次の事項

② 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

(4) ろ過装置の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・常設

(1/2)

			変更前	変更後
名称			格納容器再循環サンプスクリーン	変更なし
種類	類	—	ディスク型	変更なし
容量	量 (GPH)	m ³ /h		
最高使用圧力	(GPa)	MPa		
最高使用温度		℃	122	変更なし 138 (GPa)
主要寸法	たて	mm		変更なし
	横	mm		
	ディスク高さ	mm		
	枚数	—		
	ギャップ外径	mm		
	ギャップ高さ	mm		
枚数	—			
	コアチューブ外径	mm		
材料	ディスク	—		
	ギャップ	—		
	コアチューブ	—		

7

			変 更 前	変 更 後	
取 付 箇 所	個	数 (注1)	1 (注1)	2 (注1)	
	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	格納容器再循環サンプスクリーン 格納容器サンプB(注1)	格納容器再循環 サンプスクリーンA 格納容器サンプB-A	格納容器再循環 サンプスクリーンB 格納容器サンプB-B
	設 置 床	—	[Redacted]	変更なし	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—				

(注1) 1系列あたりの流量を示す。

(注2) 有効吸込水頭がポンプの必要有効吸込水頭（余熱除去ポンプは[Redacted]、内部スプレポンプは[Redacted]以上

(注3) 有効吸込水頭の設計値は、余熱除去ポンプでは[Redacted]、内部スプレポンプでは[Redacted]

(注4) 公称値

(注5) 有効吸込水頭がポンプの必要有効吸込水頭（余熱除去ポンプは[Redacted]、内部スプレポンプは[Redacted]以上

(注6) 有効吸込水頭の設計値は、余熱除去ポンプでは[Redacted]、内部スプレポンプでは[Redacted]

(注7) 格納容器再循環サンプスクリーンは、その機能及び構造上耐圧機能を必要としないため、最高使用圧力は適用されないが、ここでは、原子炉格納容器の最高使用圧力を（ ）内に示す。

(注8) 重大事故等時における使用時の値

(注9) 記載値は公称値であり、部品単位の寸法を示す。

(注10) 1モジュール当たりの数量を示す。

(注11) 系列数を示す。

(注12) 1系列は[Redacted]モジュールである。

(注13) 1系列は[Redacted]モジュールである。

(注14) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

(注15) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名：原子炉冷却系統施設

系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
安全弁及び逃がし弁（常設）

要領書番号：原規規収第1610071号2-08

令和元年12月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第 299号(平成28年10月7日)
関原発第 434号(平成30年3月20日)
関原発第 46号(平成30年4月20日)
関原発第 202号(平成30年7月4日)
関原発第 259号(平成30年8月20日)
関原発第 415号(平成30年12月5日)
関原発第 504号(平成31年2月1日)
関原発第 512号(平成31年2月6日)
(以下、別紙参照)
- 4 検査期日 自 平成31年2月28日
至 令和元年12月16日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
東亜バルブエンジニアリング株式会社
兵庫県尼崎市西立花町
- 6 検査範囲 高浜発電所第1号機
発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
安全弁及び逃がし弁(常設) 1個
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり

3 検査申請

使用前検査申請番号

関原発第582号（平成31年3月18日）

関原発第 3号（平成31年4月4日）

関原発第 68号（2019年5月16日）

関原発第115号（2019年6月24日）

関原発第204号（2019年8月23日）

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 材料検査記録
- 3 寸法検査記録
- 4 外観検査記録
- 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
- 6 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
平成31年 2月28日	岸 田 国 基  水 戸 侑 哉 	ボイラー・タービン 主任技術者 伊 藤 順 市 	なし
令和元年 12月16日	河 田 拓 也 	ボイラー・タービン 主任技術者 安 東 一 	なし
年 月 日		主任技術者	

☆

検査結果一覧表

系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
安全弁及び逃がし弁（常設）

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け 状態を確認する検査	備考
検査日	平成31年 2月28日	平成31年 2月28日	年 月 日	年 月 日	
結果	良	良			
検査日	年 月 日	年 月 日	令和元年 12月16日	令和元年 12月16日	
結果			良	良	
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
結果					

5

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	平成31年 2月28日	良	使用前検査成績書の「3検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 12月16日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	平成31年 2月28日	良	
		令和元年 12月16日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可、届出番号の記載が適切であること。	記録確認	平成31年 2月28日	良	
		令和元年 12月16日	良	
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成31年 2月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成31年 2月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成31年 2月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成31年 2月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	平成31年 2月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 12月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 12月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 12月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 12月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

高浜発電所第1号機				
材料検査記録				
検査場所：東亜バルブエンジニアリング株式会社				
検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 安全弁及び逃がし弁（常設）：1個				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	使用材料	検査年月日	検査結果	検査方法
1V-8861（弁箱）	SCS14A	平成31年 2月28日	良	記録確認
<p>備考</p> <p>・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。</p> <p>※：適合性確認検査成績書の識別番号： T1-1-0206</p>				

高浜発電所第1号機

寸法検査記録

検査場所：東亜バルブエンジニアリング株式会社

検査範囲：原子炉冷却系統施設

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

安全弁及び逃がし弁（常設）：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容値を満足すること。

検査対象		主要寸法 ^{※1} (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
1V-8861	呼び径	20	20~20.2	20.0	平成31年 2月28日	良	目視 / 記録確認
	のど部の径	20	20~20.2	20.0			
	弁座口の径	24	24~24.2	24.0			
	リフト	1	1以上	1 ^{※3}			

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：最小値

~~記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。~~

~~※4：適合性確認検査成績書の識別番号~~

高浜発電所第1号機			
外観検査記録			
検査場所：関西電力株式会社高浜発電所			
検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 安全弁及び逃がし弁（常設）：1個			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
1V-8861	令和元年 12月16日	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号			

高浜発電所第1号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

安全弁及び逃がし弁（常設）：1個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
1V-8861	令和元年 12月16日	良	目視 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号；

高浜発電所第1号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：平成31年 2月28日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	ノギス	N30-210	0~300mm	±0.08mm	2018.6.25 2019.6.30	
寸法検査	ノギス	N30-144	0~300mm	±0.04mm	2018.6.25 2019.6.30	
寸法検査	シリンドリッジ	CG-35-21	18~35mm	5μm以下 (広範囲精度)	2018.12.21 2019.12.31	
寸法検査	ダイヤルゲージ	DG-466	0~10mm	±0.015mm (全測定範囲)	2018.12.21 2019.12.31	
寸法検査	マイクロメータ	OM25-32	0~25mm	±2μm	2018.12.21 2019.12.31	
寸法検査	デプスゲージ	VD15-139	0~150mm	±0.03mm	2018.6.25 2019.6.30	